

## 2026年2月新聞書評に掲載された本



### 犯人と二人きり

高野和明 著

文藝春秋

ミステリーをベースに、ホラー、サスペンス、SF、ファンタジーなどエンタテインメント小説のあらゆる要素を盛り込んだ短編集。「死人に口あり」など、謎が謎を呼ぶ全7編を収録。『オール讀物』掲載などを単行本化。

産経新聞 2026/02/01

2025:11./ 318p  
978-4-16-392037-5

¥1,980〔税込〕



9 784163 920375



### 沈没船は知っている～海の底から語られる6000年の歴史～

デイヴィッド・ギビンズ 著

河出書房新社

世界最古の航洋船、ビザンティン帝国の教会船、ヘンリー8世の軍艦、Uボートに襲撃されたイギリス船…。世界的海洋考古学者が海底に眠る謎を追ったノンフィクション。12の沈没船から、人類の冒険と悲劇を浮かび上がらせる。

産経新聞 2026/02/01

2025:10./ 341p  
978-4-309-22974-4

¥3,190〔税込〕



9 784309 229744



### ラジオと写真家～「声」の日本写真小史★1925-1944～(叢書パルマコン・ミクロス 11)

松實 輝彦 著

創元社

日本でラジオ放送が開始され、趣味講座の一つである写真講座が始まると高い人気を博した。著名写真家らが何を話したのか、当時飛ぶように売れたラジオテキストを繙きつつ、モダニズム写真史に新たな光を当てる。

産経新聞 2026/02/01

2025:12./ 277p  
978-4-422-70181-3

¥3,080〔税込〕



9 784422 701813

- ご注文の際には、タイトル・出版社名・価格のほか、ISBNも併せてお知らせください。
- 原価の改定、為替相場の変動などの理由により価格を変更する場合がございます。予めご了承の程お願い申し上げます。
- ご注文、ご照会は弊社本・支店・営業部(課)までお申し付けください。
- 表示価格は2026年2月時点での税込み価格です。



## 「徹子の部屋」の50年～時代を彩ったゲストたち～

「徹子の部屋」制作委員会 編

ぴあ

1976年に始まり、2026年で50周年を迎えたTV番組「徹子の部屋」。昭和の大スターから音楽界の巨匠、歌姫、球界のレジェンドまで、1万2000組以上の中から、時代を代表するゲストの貴重な素顔を伝える。

産経新聞 2026/02/01

2026.2./ 223p  
978-4-8356-5027-2

¥2,500〔税込〕



## 「手に負えない」を編みなおす

友田 とん 著

柏書房

「手に負えない」をキーワードに、鉄道や道路、公園、記憶、言葉など様々なものが人びとが手当てすることで維持されているインフラであることを見出す一冊。地下鉄の漏水対策の観察から始まる、暮らしと探究のクロニクル。

産経新聞 2026/02/01、毎日新聞 2026/02/14

2026.1./ 245p  
978-4-7601-5650-4

¥1,980〔税込〕



## なぜ日本文学は英米で人気があるのか(ハヤカワ新書 051)

鴻巣友季子 著

早川書房

英米の書評に見られる意外な形容、日英翻訳家たちの創意工夫とネットワーク、排外主義的な政治状況に反発する若い世代からの支持…。翻訳家・文芸評論家である著者が、日本文学が英米において人気がある理由を読み解く。

産経新聞 2026/02/01、毎日新聞 2026/02/21

2025.12./ 254p  
978-4-15-340051-1

¥1,254〔税込〕



## どうすればよかったか?

藤野 知明 著

文藝春秋

統合失調症の症状が現れた姉を、医療から遠ざけ家に閉じ込めた両親。どうすることもできずにいた弟。ドキュメンタリー映画「どうすればよかったか?」の監督が、映像では伝えきれなかった様々な思いを率直な言葉で明かす。

産経新聞 2026/02/08

2026.1./ 187p  
978-4-16-392064-1

¥1,650〔税込〕



## 日々、タイガース、時々、本。～猛虎精読の記録～

中江 有里 著

徳間書店

阪神タイガース観戦記×日常×書評。俳優・中江有里が野球に対する感慨と愛読本の感想をクロスさせた、少々風変わりなエッセイ集。『好書好日』連載を修正し、書き下ろしを加えて書籍化。

産経新聞 2026/02/08

2025.11./ 212p  
978-4-19-866129-8

¥1,870〔税込〕





### ジル・ドゥルーズ講義録 絵画について

ジル・ドゥルーズ、ダヴィッド・ラブジャード 著  
河出書房新社

哲学者ジル・ドゥルーズが絵画について論じた 1981 年の講義録。セザンヌ、ゴッホ、ドラクロワ…。画家は一体何と格闘してきたのか？ その仕事を解説し、「ダイアグラム」「コード」等の哲学的概念を示す。詳細な注釈つき。

産経新聞 2026/02/08

2025.11./ 448p  
978-4-309-22979-9

¥4,180〔税込〕



### 危険な言語〜エスペラント弾圧と迫害の歴史〜

ウルリッヒ・リンス 著  
国書刊行会

国際語エスペラントは、ロシアや欧州で受容される一方で苛烈な弾圧にさらされた。エスペラント運動がたどった苦難と再生の道のりと、この言語の理念に魅せられた話者たちの運命を克明に描く。

産経新聞 2026/02/08

2025.9./ 496p  
978-4-336-07790-5

¥3,960〔税込〕



### 仕事と人生に効く 教養 囲碁入門

大沢 摩耶 著  
PHP 研究所

囲碁に興味があるけど、何から始めればいいのか？ 囲碁って何かの役に立つの？ レジエント囲碁講師が、わかりやすく囲碁の打ち方、囲碁にまつわる教養を伝える。折り込み式の囲碁入門セット、解説動画の QR コード付き。

産経新聞 2026/02/08

2026.2./ 271p  
978-4-569-86029-9

¥2,090〔税込〕



### 銅像が教えてくれる日本史(扶桑社新書 560)

丸岡 慎弥 著  
育鵬社

聖徳太子、織田信長、宮本武蔵、二宮金次郎、大久保利通、吉田茂…。歴史上の偉人の銅像を通じて、エピソードや思想を紐解く。銅像の写真と所在地の地図も掲載する。

産経新聞 2026/02/08

2026.1./ 299p  
978-4-594-10185-5

¥1,100〔税込〕



### たまさかの古本屋シマウマ書房の日々

鈴木創 著  
亜紀書房

新刊書店や図書館とはまた別の角度から、本と読者をつなぐ役割を担っている古本屋・シマウマ書房。日々の仕事の中で多くの書物や人と接し、見て、考えてきた店主が、本の豊かな魅力、読書の醍醐味、活字文化のこれからを綴る。

産経新聞 2026/02/08

2025.12./ 254p  
978-4-7505-1900-5

¥2,200〔税込〕





**ゆきどけ産声翻訳機〜Best selection 100 現代川柳アンソロジー〜**

暮田真名 著  
左右社

現代川柳 100 句を「Best20」「おもしろい」「こわい」「かっこいい」「せつない」に分類し、すべての句に鑑賞文を付す。コラム「現代川柳基礎知識」「現代川柳」と「サラ川」の関係」なども収録。

産経新聞 2026/02/08

2026:1./ 241p  
978-4-86528-508-6

¥2,530〔税込〕



**知性の復権〜「真の保守」を問う〜(新潮新書 1105)**

先崎彰容 著  
新潮社

協調から対立、自国のアイデンティティ再構築、「保守」を掲げる政治家、強まる社会の閉塞感…。急激に変わりつつある世界秩序。混迷と不確実性の時代を国はどうか乗り越えるのか。近代思想史を掘り下げ、日本の行方を見すえる。

産経新聞 2026/02/15

2025:11./ 269p  
978-4-10-611105-1

¥1,078〔税込〕



**読む技法〜詩から法律まで、論理的に正しく理解する〜(中公新書 2883)**

伊藤 氏貴 著  
中央公論新社

より深い読解力を身につけるための実践的な入門書。解釈学、構造主義、ナラトロジーなど多様な「読む技法」を紹介するとともに、詩、小説、評論、法律など幅広いテキストを題材に、技法を応用して読み解く。

産経新聞 2026/02/15

2025:11./ 264p  
978-4-12-102883-9

¥1,100〔税込〕



**サカナ戦争〜グローバル化する魚食と日本漁業の未来〜**

濱田武士 著  
家の光協会

スーパーから国産の「鮮魚」が姿を消し、かつて安価だった輸入海産物も円安と国際競争で高騰、水産加工場や漁船は外国人労働力頼り…。日本漁業衰退の真因に迫り、次世代の水産業をどう創造するかを考察する。

産経新聞 2026/02/15

2026:1./ 219p  
978-4-259-54791-2

¥1,650〔税込〕



**八雲の妻〜小泉セツの生涯〜(潮文庫 は-5)**

長谷川 洋二 著  
潮出版社

松江でラフカディオ・ハーンと巡り会い、良きパートナーとなった小泉セツ。没落士族の困難に満ちた暮らしを、ハーンとともに歩むことで克服したセツの一生を、資料を駆使して描き切った評伝。セツの「思ひ出の記」も収録。

産経新聞 2026/02/15

2025:9./ 408p  
978-4-267-02474-0

¥1,210〔税込〕





### 絶滅しそうな世界の文字

ティム・ブルックス 著  
河出書房新社

夢の啓示で生まれた文字、奴隷貿易の暗号だった文字、民族独立象徴の文字…。世界中の消滅危機にある 83 の文字の歴史と現況を、現地調査に基づき描出。文字の成立にまつわる宗教や神話の情報も多数収録する。

産経新聞 2026/02/15

2025:10./ 255p  
978-4-309-22975-1

¥5,390〔税込〕



### ふるさとの川は永遠に

趙 麗宏、城田 千枝子、趙 増耀 著  
みらいパブリッシング

田舎で祖母に育てられた少年シュエディは、7才のとき、大都市上海で暮らすことになった。しかし時代は中華人民共和国が建国してまもない時期。政治の混乱による暗い影が忍び寄ってきて…。川とともに成長していく少年の物語。

産経新聞 2026/02/15

2026:1./ 287p  
978-4-434-37050-2

¥2,200〔税込〕



### わたしたちの図書館旅団

ジャネット・スケスリン・チャールズ、高山 祥子 著  
東京創元社

ニューヨーク公共図書館で資料の撮影をするウェンディーは、第一次世界大戦中、有志の女性たちが集まってフランス北部再建のために働いたという団体と戦地に渡ったある司書の存在を知る。そして彼女について調べ始め…。

産経新聞 2026/02/15

2026:1./ 386p  
978-4-488-01156-7

¥2,530〔税込〕



### 移民 1000 万人時代～2040 年の日本の姿～(朝日新書 1039)

毛受 敏浩 著  
朝日新聞出版

1年間の出生者数が70万人を下回り、人口減少の加速期に突入した日本。一方で、外国人労働者の増加が今後も予測されている。移民問題の第一人者が、誰も語らなかったこの国の未来像を解き明かす。

産経新聞 2026/02/15、日本経済新聞 2026/02/28

2026:1./ 238p  
978-4-02-295352-0

¥1,045〔税込〕



### 近代芸術の光と影～岡本かの子と伝説の男たち～

田中 あさひ 著  
KADOKAWA

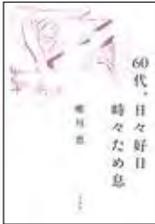
近代の傑物である漫画家・岡本一平と、その妻で、日本を代表する芸術家となった長子・太郎の母である歌人・小説家のかの子。その短歌作品、一平と太郎の随筆などから、夫妻がどのように芸術家として成功したのかを考察する。

産経新聞 2026/02/22

2025:12./ 269p  
978-4-04-884689-9

¥3,080〔税込〕





### 60代、日々好日 時々ため息

唯川 恵 著  
光文社

若くはないが老いてもいない、60代の生き方とは？ 直木賞作家・唯川恵が、故郷、健康、ライフスタイルなど、自ら感じた60代の10年間を綴ったエッセイ集。『月刊北國アクタス』連載を書籍化。

産経新聞 2026/02/22

2025:12./ 234p  
978-4-334-10825-0

¥1,760〔税込〕



### 暗黒の瞬間

エリーザ・ホーフェン 著  
東京創元社

30年以上のキャリアに幕を引くことを決意した、ベルリンの刑事弁護士エーファ。凄腕で知られる彼女は、多くの忘れがたい事件を手がけてきた。ドイツを舞台にした法と罪を巡る連作短編集。

産経新聞 2026/02/22

2026:2./ 379p  
978-4-488-01159-8

¥2,530〔税込〕



### 老いることの驚きと幸せ～これから年を重ねていくあなたへ、88歳の作家からの手紙～

ソフィー・バーナム、柴田 幸裕 著  
アスコム

どうか希望を持ってください。年を取るのも案外悪くないものですよ-。88歳の作家から、「老い」の不安に向き合う59歳の女性に宛てたメッセージ。自分らしく老いるロードマップ、心の持ち方のヒント集。

産経新聞 2026/02/22

2025:12./ 333p  
978-4-7762-1455-7

¥1,870〔税込〕



### 私が見た金正恩～北朝鮮亡命外交官の手記～

リ イルギユ、李 相哲 著  
産経新聞出版

北朝鮮にとって拉致問題は「餌」。監視、裏切り、権力闘争、密輸、核、米中露との関係…。脱北した高位外交官が、外交文書、公電の原文に基づいて、金正恩の独裁システムの全貌を明かす。

産経新聞 2026/02/22

2025:10./ 333p  
978-4-8191-1463-9

¥1,980〔税込〕



### M/Tと森のフシギの物語(岩波文庫 緑 197-2)

大江 健三郎 著  
岩波書店

四国の森の奥深く、時の権力から独立したひとつのユートピアが作り出される…。雄大な文学的想像力で描く人間の再生と救済。大江文学の「原点」の物語。

朝日新聞 2026/02/07

2014:9./ 458p  
978-4-00-311972-3

¥1,045〔税込〕





### 汝、星のごとく(講談社文庫 な 101-1)

凧良 ゆう 著

講談社

瀬戸内の島に育った高校生の暁海と、自由奔放な母の恋愛に振り回され島に転校してきた權。ともに心に孤独と欠落を抱えた二人は、惹かれ合い、すれ違い、そして成長していき…。

朝日新聞 2026/02/07

2025:7./ 439p  
978-4-06-540188-0

¥990〔税込〕



### 天皇機関説タイフーン

平山周吉 著

講談社

この国の節目は昭和十年にあり! 台風の如く人々を翻弄し、敗戦に至る日本の行く末を決定した天皇機関説事件。「合法無血のクーデター」ともいわれた事件の真相に迫る。『群像』連載を加筆修正し単行本化。

朝日新聞 2026/02/07

2025:11./ 460p  
978-4-06-541508-5

¥3,080〔税込〕



### 朝鮮の王朝外交～“ややこしさ”からの気づき～(集英社新書 1297)

森平雅彦 著

集英社

大国と隣り合う朝鮮半島の王朝は、シビアでややこしい国際関係をいかにして生き抜くことができたのか? 中国・日本・周辺諸国との緊張と交流の紆余曲折を読み解き、朝鮮の王朝国家の躍動的な国際関係の歴史を描き出す。

朝日新聞 2026/02/07

2026:1./ 334p  
978-4-08-721397-3

¥1,166〔税込〕



### シリアの家族

小松由佳 著

集英社

シリアの沙漠で出会った総勢 70 人の大家族。シリア難民の妻、そして二児の母となった写真家が、激動のシリアを生きた市井の人々の、等身大の姿を描くノンフィクション。『kotoba』連載を大幅に加筆修正・再構成。

朝日新聞 2026/02/07

2025:11./ 316p  
978-4-08-781773-7

¥2,420〔税込〕



### 彼女の最初のパレスチナ人

サイード・ティービー 著

小学館

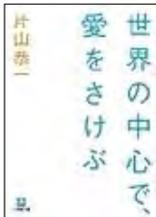
母国パレスチナについて、恋人に教えた医学生アービド。彼女が救済活動に目覚めていく姿に戸惑い…。安住の地となるはずの国でアイデンティティの揺らぎに直面するパレスチナ移民たちを、多彩な筆致で綴るカナダ発短篇集。

朝日新聞 2026/02/07

2025:11./ 271p  
978-4-09-356756-5

¥2,860〔税込〕





### 世界の中心で、愛をさけぶ(小学館文庫)

片山 恭一 著  
小学館

高校2年生の朔太郎と、恋人のアキ。アキの死から、物語は始まる。ふたりの出会い、無人島への旅、そしてアキの発病、入院……。最愛の人を失うとは、どういうことなのか。日本中を涙させたラブストーリー。

朝日新聞 2026/02/07

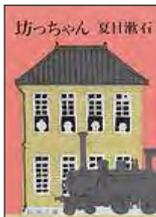
2006:7./ 236 p

978-4-09-408097-1

¥544〔税込〕



9 784094 080971



### 坊っちゃん 改版(新潮文庫)

夏目 漱石 著  
新潮社

朝日新聞 2026/02/07

2003:4./ 216p

978-4-10-101003-8

¥341〔税込〕



9 784101 010038



### 村上海賊の娘<1>(新潮文庫 わ-10-2)

和田 竜 著  
新潮社

時は戦国。乱世に名を轟かせた村上海賊。瀬戸内海の島々に根を張り、強勢を誇る当主の剛勇と荒々しさを引き継いだ娘の景は、海賊働きに明け暮れ、地元では嫁の貰い手のない悍婦で醜女。この姫が合戦前夜の難波へ向かい…。

朝日新聞 2026/02/07

2016:7./ 343p

978-4-10-134978-7

¥781〔税込〕



9 784101 349787



### その針がさすのは

羽田 圭介 著  
新潮社

僕ら夫婦は不妊治療をしながら中野で暮らしている。この街は戦前、満州と電信ケーブルで繋がっていたらしい。ふいに聞こえるようになった大陸からの声。僕は断絶した歴史と接続してしまったのか…。『新潮』掲載を単行本化。

朝日新聞 2026/02/07

2025:11./ 154p

978-4-10-336113-8

¥1,925〔税込〕



9 784103 361138



### イスラームが動かした中国史～唐宋代から鄭和の大航海、現代回族まで～ (中公新書 2886)

海野 典子 著  
中央公論新社

7世紀以降、中国各地に豊かな文化を根づかせ、歴代王朝の諸勢力が躍進する原動力となったムスリム。彼らとその末裔は、中華文明とどう向き合い、中国社会をどう変えたのか。1400年の軌跡を、世界史の視座から照らし出す。

朝日新聞 2026/02/07

2025:12./ 384p

978-4-12-102886-0

¥1,430〔税込〕



9 784121 028860



**中国 TikTok 民俗学～スマホからはじまる珍神探訪～(NHK 出版新書 754)**

大谷 亨 著

N H K 出版

奇っ怪な神々が跋扈する中国各地のディープな信仰世界を、TikTok を駆使した「お手軽フィールドワーク」で活写した前代未聞の民俗学ルポルタージュ。取材写真

180 点超もフルカラーで収載。ウェブマガジン連載を書籍化。

2025:12./ 318p  
978-4-14-088754-7

¥1,485〔税込〕



朝日新聞 2026/02/07



**坂の上の雲<1> 新装版(文春文庫)**

司馬 遼太郎 著

文芸春秋

松山出身の歌人正岡子規と軍人の秋山好古・真之兄弟の三人を軸に、維新から日露戦争の勝利に至る明治日本を描く大河小説。

1999:1./ 350p  
978-4-16-710576-1

¥825〔税込〕



朝日新聞 2026/02/07



**別子太平記～愛媛新居浜別子銅山物語～<上>(徳間文庫 徳間時代小説文庫 い 44-31)**

井川 香四郎 著

徳間書店

伊予国の別子で銅が発掘された。側用人の柳沢保明は、銅山の開発を勘定頭差添役の荻原重秀に命じた。彼は諸国の鉱山を歩き廻った後藤覚右衛門を代官に命じる。後藤は大坂の豪商の分家で、銅業を営む「泉屋」に協力を仰ぎ…。

2020:9./ 256p  
978-4-19-894585-5

¥770〔税込〕



朝日新聞 2026/02/07



**別子太平記～愛媛新居浜別子銅山物語～<下>(徳間文庫 徳間時代小説文庫 い 44-32)**

井川 香四郎 著

徳間書店

黒船の来航以降、幕府は厳しい状況におかれていた。それは伊予国新居にある別子銅山にも影響を及ぼし、170 年にわたり銅山稼業を営む「泉屋」は多額の負債を抱えていた。おまけに給金が滞った鉱夫たちの不満が高まり…。

2020:9./ 282p  
978-4-19-894586-2

¥770〔税込〕



朝日新聞 2026/02/07



**なぜ、これが名画なの?～様式の歴史から読み解く～**

秋田 麻早子 著

朝日出版社

なぜこの線? なぜこの色彩? 「17 世紀っぽい」「ロココ風」ってなぜ言える? 西洋絵画の様式の流行に気づくためには「どこを見たらよいか」を解説。見る力を鍛える実践問題も多数収録する。

2025:12./ 310p  
978-4-255-01406-7

¥2,200〔税込〕



朝日新聞 2026/02/07



### 秘密の花園(光文社古典新訳文庫)

バーネット 著  
光文社  
朝日新聞 2026/02/07

2007:5./ 507p  
978-4-334-75128-9

¥968〔税込〕



### がんばっていきまっしょい(幻冬舎文庫)

敷村 良子 著  
幻冬舎

進学校である松山東高校になんとか入学した悦子は、女子ボート部を設立し、初心者ばかりの仲間を集め、エネルギーをボートに注ぐ。「自分の居場所」を見つけ、張り切る悦子だったが、貧血と腰痛に見舞われ、大事な大会直前、ボートが漕げなくなってしまう。

2005:6./ 234p  
978-4-344-40660-5

¥627〔税込〕



朝日新聞 2026/02/07



### 枢軸～ベルリン・ローマ・東京一九一九-一九四六年～

ダニエル・ヘディングー、清水 雅大、山本 晶子、山根 徹也 著  
人文書院

ファシズムは、いかにして世界を大規模戦争に引きずり込んだのか。第一次世界大戦の終わりから第二次世界大戦の終わりまでを取り上げ、ベルリン・ローマ・東京枢軸の形成・拡大と、世界大戦に至るプロセスを鮮やかに描く。

2025:10./ 519p  
978-4-409-51109-1

¥8,800〔税込〕



朝日新聞 2026/02/07



### 悲しいことなんかじゃない

花園 照輝 著  
双葉社

ヴァージンながら乳首にピアスを開けたアサヒはフツウの恋を探している。親友の彼氏がヒモ野郎であることにモヤモヤしていて…。若い2組の男女の恋の光と影を鮮烈なタッチで描くコミック。『web アクション』連載を書籍化。

2025:12./ 224p  
978-4-575-44108-6

¥1,485〔税込〕



朝日新聞 2026/02/07



### 虚弱に生きる

絶対に終電を逃さない女 著  
扶桑社

20代にして老人並の身体。労働する体力も恋愛する元気もない。病気ではない。でも、こんなにも生きるハードルが高い。虚弱体質で生きるリアルをつづった、新時代のサバイバル・エッセイ。

2025:11./ 222p  
978-4-594-10093-3

¥1,760〔税込〕



朝日新聞 2026/02/07



### 彼岸花(トーチコミックス)

青色 ひよこ 著  
リイド社  
朝日新聞 2026/02/07

2025:12./ 456p  
978-4-8458-6987-9

¥3,300 [税込]



### 荒原にて

索南才讓、及川 茜 著  
リトル・モア

家族の約束。愛馬との別れ。過酷な労働と旅。降りかかる天災。人は絶望を超えて  
いかに生きるのか…。モンゴル民族の著者が寒冷な高原で暮らした経験から描く、  
「異なる生活」の孤独と不条理。全 10 篇の中短篇を収録する。

朝日新聞 2026/02/07

2025:11./ 350p  
978-4-89815-614-8

¥2,970 [税込]



### 生を見つめる翻訳〜世界の深部をひらいた 150 年〜

東京外国語大学出版会編集委員会 編  
東京外国語大学出版会

海外の優れた著作を日本語に引き受ける「翻訳」は、この 150 年余りの間、公共圏  
にはたして何をもたらしたのだろうか。第一線の翻訳家・研究者 37 人が翻訳をめ  
ぐる体験と考察を綴るエッセイや論考、インタビューを収録する。

朝日新聞 2026/02/07

2025:12./ 464p  
978-4-910635-22-4

¥4,950 [税込]



### 大江戸怪談事情〜『耳囊』の怪異をひもとく〜(歴史文化ライブラリー 627)

堤 邦彦 著  
吉川弘文館

怪異は山深い村里ではなく、大都市江戸で起こった。江戸後期の町奉行・根岸鎮衛  
が記した怪談奇談集「耳囊」を読み解き、怪異と隣り合わせに暮らす人びとの精神  
世界を描く。後世の怪談文芸や都市伝説への影響も解明する。

朝日新聞 2026/02/07、東京・中日新聞 2026/02/08

2026:1./ 256p  
978-4-642-30627-0

¥2,090 [税込]



### 発心集(角川ソフィア文庫 ビギナーズ・クラシックス A5-5)

伊東 玉美 編  
鴨 長明 著  
KADOKAWA

「方丈記」の作者・鴨長明が、嫉妬や欲望に心をかき乱される人々の姿を描いた仏  
教説話集。総ふりがなつきの原文・現代語訳、ていねいな解説とともに古典文学を  
たどる入門書。

朝日新聞 2026/02/08

2025:8./ 199p  
978-4-04-400770-6

¥1,210 [税込]





### アウトサイダー・ポリティクス〜ポピュリズム時代の民主主義〜

水島 治郎 著  
岩波書店

ポピュリズムが席卷するなかで、世界各国では政治的アウトサイダーが表舞台に登場し、政権を獲得する者も続出している。世界を揺るがすアウトサイダー政治の「見取り図」を、各国政治研究の第一人者たちが描く。

朝日新聞 2026/02/14

2025:5./ 386p  
978-4-00-061698-0

¥3,740〔税込〕



### 赤い高粱<上>(岩波文庫 赤 47-1)

莫 言、井口 晃 著  
岩波書店

婚礼の輿がひとつ、赤に染まる高粱畑の道を往く。中国山東省高密県東北郷。日本軍が蛮行の限りを尽くすこの地で、血と土、酒に彩られた凄烈な物語が始まる。

朝日新聞 2026/02/14

2025:11./ 344p  
978-4-00-320471-9

¥1,364〔税込〕



### 赤い高粱<下>(岩波文庫 赤 47-2)

莫 言、井口 晃 著  
岩波書店

日本軍を撃退した余占鰲。しかし、戦火のなか戴鳳蓮は銃弾に斃れ、配下のゲリラ隊も全滅、村は報復により焼かれた。抗日戦争の時代を激しく生き抜く一族の物語はつづく。ノーベル文学賞作家の代表作。

朝日新聞 2026/02/14

2025:12./ 510p  
978-4-00-320472-6

¥1,650〔税込〕



### 言語化するための小説思考

小川 哲 著  
講談社

「伝える」ではない、「伝わる」言葉や文章を生み出すために、小説家はいつも何を考えているのか。直木賞作家・小川哲が、自分の脳内にあるものを言語化する方法を解説する。『群像』連載を書籍化。小説「エデンの東」も収録。

朝日新聞 2026/02/14

2025:10./ 189p  
978-4-06-541043-1

¥1,210〔税込〕



### ラブレス(新潮文庫 さ-82-1)

桜木 紫乃 著  
新潮社

中学卒業と同時に奉公に出され、やがては旅芸人一座に飛び込んだ百合江。妹の里実は地元で、理容師の道を歩み始める…。流転する百合江と堅実な妹の60年に及ぶ絆を軸に、姉妹の母や娘たちを含む女3世代の凄絶な人生を描く。

朝日新聞 2026/02/14

2013:12./ 413p  
978-4-10-125481-4

¥781〔税込〕





**陰陽師 烏天狗ノ巻(文春文庫 ゆ 2-42)**

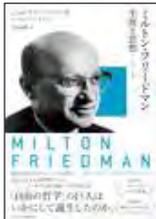
夢枕 獏 著  
文藝春秋

朱雀大路で焼き栗を商う行者が清明の屋敷を訪れる。聞けば夜な夜な烏天狗に踏みつけられ、「罰あたりめ」と折檻されているらしく…。「ちび不動」をはじめ、清明と博雅コンビの魅力が詰まった全 8 編を収録。

朝日新聞 2026/02/14

2026:1./ 287p  
978-4-16-792459-1

¥781〔税込〕



**ミルトン・フリードマン～生涯と思想～<上>**

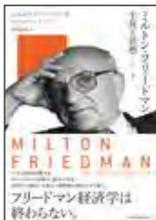
ジェニファー・バーンズ 著  
日経 B P 社

現代経済学のフロンティアを開き、社会にも多大な影響を与えたミルトン・フリードマンの全生涯を、アーカイブに基づき再現した伝記。上は、経済学者として地位を築いていく様子を、恩師や友人らの交流も交えて描く。

朝日新聞 2026/02/14

2025:10./ 413p  
978-4-296-12012-3

¥5,500〔税込〕



**ミルトン・フリードマン～生涯と思想～<下>**

ジェニファー・バーンズ 著  
日経 B P 社

現代経済学のフロンティアを開き、社会にも多大な影響を与えたミルトン・フリードマンの全生涯を、アーカイブに基づき再現した伝記。下は、1960年代から晩年までの後半生を描く。

朝日新聞 2026/02/14

2025:10./ 429p  
978-4-296-12013-0

¥5,500〔税込〕



**日本政治、再建の条件～失われた 30 年を超えて～(筑摩選書 0317)**

山口 二郎、中北 浩爾 著  
筑摩書房

機能不全に陥った日本政治を立て直すには何が必要か。野党再編、政権構想、選挙制度改革、ジェンダー平等、2025年参院選など複数の視点から検証し、来たるべき日本政治を展望する。

朝日新聞 2026/02/14

2025:11./ 237p  
978-4-480-01836-6

¥1,980〔税込〕



**フェイスウォッシュ・ネクロマンシー**

栗原 知子 著  
筑摩書房

息子の不登校に悩む 40 代の「私」。美容品を扱う店でテスターを使用した日から、祖母の霊を降ろせるようになってしまった。掃除に打ち込む「私」の傍らで、祖母は何をどう感じているのか。書き下ろし「森と百式」も併録。

朝日新聞 2026/02/14

2026:1./ 158p  
978-4-480-80529-4

¥1,760〔税込〕





### 歴史のなかの奇妙な仕事

ニコラ・メラ 著  
原書房

吸血鬼ハンター、錬金術師、目覚まし屋、サイコロ飲み…。古代ローマから近代までの今はなき危険で珍妙な仕事の数々を紹介。生と死、職業と人類の進化、当時の社会背景が仕事から浮かび上がる。

朝日新聞 2026/02/14

2025:12./ 310p  
978-4-562-07583-6

¥2,970 [税込]



### 末世の芸術～来たるべき無人類のために～

榎木野衣 著  
美術出版社

2011年以降、世界は芸術にとって末世の段階に突入した。グローバル化した世界を前提とする今日のアートに疑義を投げかけ、日本の美術を新たな視点で立ち上げ直そうとする試みの軌跡。『ART iT』連載を書籍化。

朝日新聞 2026/02/14

2025:12./ 725p  
978-4-568-10593-3

¥5,830 [税込]



### 良き統治～大統領制化する民主主義～

ピエール・ロザンヴァロン 著  
みすず書房

機能不全を起こしている民主主義。大統領制化する民主主義に展望はあるのか。権力の中心が立法権から執行権へと移行する統治の歴史を明らかにし、新たな民主主義の展望をひらく。ロザンヴァロンの民主主義論の総決算。

朝日新聞 2026/02/14

2020:3./ 456p  
978-4-622-08825-7

¥6,050 [税込]



### ムシの考古学図鑑

森勇一 著  
雄山閣

縄文のムラと人里に住むムシ、弥生の水田と水辺のムシ、街道をいくフンコロガシ、信長に焼かれた城のムシ…。遺跡産昆虫の研究成果を、写真を多用して紹介する。WEBサイト『昆虫ミュージアム』のQRコード付き。

朝日新聞 2026/02/14

2025:11./ 195p  
978-4-639-03079-9

¥3,300 [税込]



### エレクトクラシー・エピストクラシー・ロトクラシー～代表制デモクラシーを再考する～

山口 晃人 著  
名古屋大学出版会

いまや様々な批判にさらされている、選挙による議員の選出。より望ましい政体として何がありうるのか。有力視される抽選代表政や知者代表政と比較し、混合システムとしての新たな構想を提示する。

朝日新聞 2026/02/14

2025:12./ 358p  
978-4-8158-1217-1

¥5,940 [税込]





### なぜ人は締め切りを守れないのか

難波優輝 著

堀之内出版

ときに人々を苦しめ、ときに人々を奮い立たせる「締め切り」とは何なのか? 「締め切り」から現代社会に深く埋め込まれたルールを描き出し、豊かな生き方を探る哲学的冒険。

朝日新聞 2026/02/14

2025:10./ 295p  
978-4-911288-20-7

¥1,980 [税込]



### がんと生ききる〜悲観にも楽観にも傾かず〜

落合恵子 著

朝日新聞出版

肺がんと診断された著者。その直後からいくつもの選択に直面する。まずは何を選択し、何を選択しないで来たのか。病院の選択、医師の選択、治療法の選択、食べもの、代替療法…。悲観にも楽観にも傾かず病に向き合う闘病記。

朝日新聞 2026/02/14、読売新聞 2026/02/15

2025:12./ 234p  
978-4-02-252114-9

¥1,760 [税込]



### 叫び

畠山丑雄 著

新潮社

早野ひかるは「先生」に打ちのめされ、銅鐸と土地の来歴を学ぶ。かつてここには、満州に渡って「陛下への花束」を編み、紀元2600年記念万博を楽しみにしていた青年がいた。恋愛政治小説。『新潮』掲載に加筆修正。

朝日新聞 2026/02/14、日本経済新聞 2026/02/21

2026:1./ 135p  
978-4-10-356751-6

¥1,870 [税込]



### パレスチナ実験場〜世界に輸出されるイスラエルの占領技術〜

アントニー・ローウェンステイン 著

岩波書店

占領下のパレスチナを兵器や監視技術の実験場として利用し、それらを輸出して世界の紛争・弾圧に加担しているイスラエル。秘密文書、インタビュー、現地取材から支配モデルの実態を暴き出し、恐るべき未来への警鐘を鳴らす。

朝日新聞 2026/02/21

2025:12./ 366p  
978-4-00-061735-2

¥3,960 [税込]



### 花と木の文化史(岩波新書 黄版 357)

中尾 佐助 著

岩波書店

著名な植物学者が、世界史の中での花文化の発展や、民族による花の美意識のちがいを探りつつ、現在見られるあでやかな栽培花卉がどんな道筋をたどって変貌してきたのかを語り、また日本の園芸文化の独自性に説き及ぶ。

朝日新聞 2026/02/21

1986:11./ 222p  
978-4-00-420357-5

¥1,122 [税込]





### しゅんしゅんぶたくん

昼田 弥子 著  
偕成社

おもいきり鼻水をすすったら、ぶたくんが自分まで吸いこんで、鼻だけになっちゃった! 担任のオオカミ先生は、おおあわてで病院へ向かいます。でも、オオカミ先生はおなかがすいてしまい...?愛と狂気のユーモア絵本。

朝日新聞 2026/02/21

2026:1./ 32p  
978-4-03-350480-3

¥1,760〔税込〕



9 784033 504803



### ホロコースト後の機能不全～ドイツ、イスラエル、犠牲と加害の関係～(角川新書 K-503)

武井 彩佳 著  
KADOKAWA

ドイツの「過去の克服」は、世界構造のねじれへとつながった。ドイツとイスラエルに関する様々な問題に焦点を置き、機能不全に陥った世界の構造を、国籍、裁き、国際法、償い、言葉と認識という5つの視点から解きほぐす。

朝日新聞 2026/02/21

2026:2./ 276p  
978-4-04-082495-6

¥1,078〔税込〕



9 784040 824956



### 自然真営道(講談社学術文庫 2694)

安藤 昌益 著  
講談社

上に立つ者の驕りが、世の乱れを生む! 江戸中期、封建社会の低層たる農民の生活を根拠としながら、独特の時代批判をものした安藤昌益による諫言の書。管啓次郎のエッセイ、野口武彦の解説も収録。

朝日新聞 2026/02/21

2021:12./ 493p  
978-4-06-526513-0

¥1,760〔税込〕



9 784065 265130



### 舞う果て

上橋 菜穂子 著  
講談社

聖域<闇の大井戸>で、魔物から聖なる蝶を守る役目を負って暮らしている降魔士の少年・ジェード。ある日、相棒の少女・ルクランが、<予兆の鬼火>に触れる事件が起き...。『子どもプラス』連載を加筆修正。

朝日新聞 2026/02/21

2026:1./ 284p  
978-4-06-541651-8

¥1,980〔税込〕



9 784065 416518



### 沖縄社会論～周縁と暴力～

打越 正行、石岡 丈昇 著  
筑摩書房

暴走族のパシリにはじまり、沖縄で調査を続けた伝説のフィールドワーカー・打越正行の遺稿集。パシリ論、沖縄社会論、暴力論の各部に石岡丈昇・上原健太郎・上間陽子の解説を付す。岸政彦の解説も収録。

朝日新聞 2026/02/21

2025:12./ 464p  
978-4-480-86489-5

¥2,970〔税込〕



9 784480 864895



### つくれたる日本の自然～「日本の自然」はどのように語られてきたか～

大貫 恵美子 著  
みすず書房

「日本の自然」は自然の実態そのものではない。それは自然を表象したものであり、長い歴史のなかで文化的に構築されてきたものである。万葉歌が育んだ四季概念から現代の消費主義まで、自然という作為を人類学の視座から描く。

朝日新聞 2026/02/21

2025:11./ 248p  
978-4-622-09752-5

¥3,520〔税込〕



### 破壊系資本主義～民主主義から脱出するリバタリアンたち～

クイン・スロボディアン 著  
みすず書房

既存の社会を壊しながら世界中に広がっている破壊系資本主義。1990年代に着目し、ロンドンからソマリランドまで、民主主義を脱出して経済的自由100%の領域を世界中に拡散させる過激なリバタリアンたちを追跡する。

朝日新聞 2026/02/21

2026:1./ 360p  
978-4-622-09830-0

¥3,960〔税込〕



### 取調室のハシビロコウ～黙っていたら、壊された。ある弁護士の二五〇日勾留記～

江口大和 著  
時事通信出版局

弁護士だった著者は、犯人隠避教唆の疑いで横浜地検に逮捕された。黙秘する著者に、検事は驚くべきふるまいに出た！逮捕から今なお続く国家賠償訴訟の行方まで、約7年にわたる闘いをつぶさに記録したノンフィクション。

朝日新聞 2026/02/21

2026:1./ 298p  
978-4-7887-2074-9

¥2,200〔税込〕



### ひとりぼっちのベア

ハンナ・ゴールド、田中 奈津子 著  
静山社

母親を事故で亡くし、科学者の父親の自然科学調査に同行して、北極圏に滞在することになった11歳の少女エイプリル。白夜の夜、迷子のホッキョクグマに出会ったエイプリルは、クマを故郷の島にかえそうとするが...

朝日新聞 2026/02/21

2025:12./ 235p  
978-4-86389-945-2

¥2,035〔税込〕



### 英米文学のわからない言葉

金原瑞人 著  
左右社

アルコール、プディング、ターキッシュデライト、マントルピース、オリーブ色の肌...。英米文学に登場する“わかるようでわからない”おなじみのアイテムや表現を、さまざまな文学作品とともに、翻訳家・金原瑞人がひも解く。

朝日新聞 2026/02/21

2025:12./ 239p  
978-4-86528-505-5

¥2,200〔税込〕





### 中学生から知りたいウクライナのこと(MSLive!BOOKS)

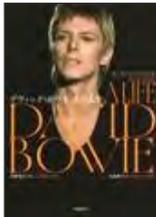
小山哲／藤原辰史 著  
ミシマ社

ロシアが絶対に許されない理由とは。西側諸国や日本が犯してきた罪とは-。地域としてのウクライナの歴史や、小国を見過ごすことのない歴史の学び方などを、2人の歴史学者が語る。オンラインでの講義や対談などを書籍化。

朝日新聞 2026/02/21

2022:6./ 206p  
978-4-909394-71-2

¥1,760〔税込〕



### デヴィッド・ボウイ、その人生

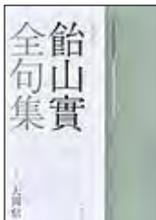
ディラン・ジョーンズ、菅野 楽章、安達 眞弓 著  
亜紀書房

ジギーから最後のアルバム「★(ブラックスター)」まで。深化し続けたアーティスト、デヴィッド・ボウイの生涯を 182 人もの関係者のインタビューで綴る、オール・バイオグラフィー。

朝日新聞 2026/02/21、日本経済新聞 2026/02/21

2026:1./ 557p  
978-4-7505-1868-8

¥5,500〔税込〕



### 飴山實全句集 新装版

『新装版飴山實全句集』刊行委員会 編  
飴山 實、大岡 信 著

朔出版

平明かつ懐深い句作を続けてきた飴山實の、「おりいぶ」をはじめとする生前 5 冊の句集と、句集未収録作品を合わせ、計 1829 句を収録。年譜、初句・季語索引を付す。

朝日新聞 2026/02/22

2026:1./ 395p  
978-4-911090-42-8

¥1,760〔税込〕



### 消失

パーシヴァル・エヴェレット／雨海弘美 著  
集英社

大学で文学を教える売れない黒人小説家セロニアス・エリスン。作品は「黒人らしさ」が足りないと評され、なかば捨て鉢になって書いた低俗な「黒人小説」がまさかの全米ベストセラーになってしまい…。

朝日新聞 2026/02/27

2026:1./ 397p  
978-4-08-773533-8

¥2,970〔税込〕



### 廃炉とは何か～もう一つの核廃絶に向けて～(岩波ブックレット No.1066)

尾松 亮 著  
岩波書店

福島原発事故から 10 年余り、事故炉の廃炉とは何をするすることで、一体それは可能なのか。チェルノブイリなど海外の事例も参照しつつ論じ、大量廃炉時代に突入した今、老朽原発を含めた原発廃炉のもつ人類史的重要性を問う。

朝日新聞 2026/02/28

2022:8./ 79p  
978-4-00-271066-2

¥682〔税込〕





### 原発事故はなぜくりかえすのか(岩波新書 新赤版 703)

高木 仁三郎 著  
岩波書店

日本中を震撼させた JCO 臨界事故から 1 年…。原子力施設の事故はなぜ繰り返されるのか？ 国の政策や原子力産業の問題を問い直し、安全性の考え方、これからの技術と人間のあり方を語る。

朝日新聞 2026/02/28

2000:12./ 194p  
978-4-00-430703-7

¥814〔税込〕



### オン・ザ・プラネット(講談社文庫 し 123-3)

島口 大樹 著  
講談社

横浜から鳥取砂丘へ、映画を撮るため同じ車に乗り込んだ 4 人。互いの過去に触れるなかで「記憶」について思いを巡らせ、彼らの「今」が変容しはじめ…。現実と虚構の別を越えて紡がれるロード&ムービー・ノベル。

朝日新聞 2026/02/28

2026:1./ 204p  
978-4-06-540880-3

¥770〔税込〕



### シン・関ヶ原(講談社現代新書 2791)

高橋陽介 (歴史研究) 著  
講談社

徳川家康はすでに天下人だった。石田三成は西軍の首謀者ではなかった。東西両軍は開戦前に和睦していた。両軍の合計は 3 万ほどだった。帝国陸軍と司馬遼太郎が創った「通説」を、170 通余りの書状が根本から覆す。

朝日新聞 2026/02/28

2025:10./ 302p  
978-4-06-541617-4

¥1,100〔税込〕



### 私の幕末維新史(新潮選書)

渡辺京二 著  
新潮社

「幕府は薩長に倒されたのではなく自壊した」「尊王攘夷が盛り上がった理由は日本人の「京都敬い」…。黒船来航で始まる激動の時代を「文明論」的な視座で捉え、独自の切り口で語り尽くす。講義の録音音声をもとに書籍化。

朝日新聞 2026/02/28

2025:12./ 220p  
978-4-10-603939-3

¥1,760〔税込〕



### 私の明治時代史(新潮選書)

渡辺京二 著  
新潮社

「日本にイスラム革命のような復古運動が起こった」「女官に囲まれ化粧をしていた天皇が突然軍服姿になった」…。一等国への道をひた走った「若き日本」の軌跡を辿る。講義の録音音声をもとに書籍化。

朝日新聞 2026/02/28

2026:1./ 254p  
978-4-10-603940-9

¥1,815〔税込〕





### 自炊の風景

山口 祐加 著  
NHK出版

初めて料理した幼少期、料理家としての独立、結婚、世界の自炊を求め歩いた海外。これまで食べてきた食卓の数々の風景と料理に心が動いた瞬間を活写した、料理家・山口祐加の初エッセイ集。豊富な写真、17のレシピも収録。

朝日新聞 2026/02/28

2026:1./ 207p  
978-4-14-005759-9

¥1,760〔税込〕



### 史上最強のサッカー日本代表をつくるために僕はベルギーへ渡った

立石敬之 著  
日経BP社

サッカーベルギー1部リーグ「シント＝トロイデンVV」は、日本人選手が本格的に欧州に進出するための経由地となった。シントトロイデンのCEOである著者が、選手やクラブ、企業との複雑な交渉事などを振り返る。

朝日新聞 2026/02/28

2025:12./ 254p  
978-4-296-00238-2

¥1,980〔税込〕



### 近現代短歌(河出文庫 古典新訳コレクション ほか6-7-37)

穂村弘 著  
河出書房新社

与謝野晶子、斎藤茂吉、北原白秋、宮沢賢治、馬場あき子、寺山修司…。穂村弘が近現代の歌人50人とその名歌5首をセレクト。自由に変化し続けてきた短歌の不思議さを面白さを、豊かな鑑賞と共に味わえるアンソロジー。

朝日新聞 2026/02/28

2025:12./ 174p  
978-4-309-42233-6

¥770〔税込〕



### 読むこと考えること(双葉文庫 よ-12-02)

養老 孟司 著  
双葉社

「読むこと」と「考えること」を往還しながら、物語に遊び、世相を眺め、虫に逃げられ、言葉に驚く。解剖学者のユーモアと明晰な論理で、あらゆる日常の風景を綴った読書エッセイ。『小説推理』連載を加筆し文庫化。

朝日新聞 2026/02/28

2026:1./ 292p  
978-4-575-71520-0

¥858〔税込〕



### 核燃料サイクルという迷宮～核ナショナリズムがもたらしたもの～

山本義隆 著  
みすず書房

日本のエネルギー政策の恥部、核燃料サイクルは、戦前からの電力中央集権化とナショナリズムの申し子だった。その歴史の精査をもとに、エネルギーと軍事にまたがる日本の核問題の来し方行く末を見つめ直す。

朝日新聞 2026/02/28

2024:5./ 320p  
978-4-622-09697-9

¥2,860〔税込〕





### イヤ・オブ・ワンダー〜365日のクラシック音楽〜

クレメンシー・バートン・ヒル 著  
みすず書房

西洋音楽にとどまらず、中世からルネサンス、バロック、古典派、ロマン派、モダニズム、ポスト・クラシカル、現代音楽まで、1日1曲ずつ1年分紹介するクラシック音楽ガイド。索引付き。

朝日新聞 2026/02/28

2025:12./ 480p  
978-4-622-09822-5

¥4,950〔税込〕



### スポーツ・クリティーク

町田 樹 著  
世界思想社

元アスリート、現研究者として実践知と学問知を兼ね備える著者が、複眼的視座を駆使して現代スポーツに対する批評を模索し実践する。『毎日新聞』連載「今を生きる、今を書く」を中心に再編成し加筆修正。

朝日新聞 2026/02/28

2026:1./ 221p  
978-4-7907-1805-5

¥2,200〔税込〕



### 調査報道の戦後史〜1945-2025〜

高田昌幸 著  
旬報社

田中角栄研究、リクルート事件…。戦後 80 年、社会を動かした調査報道の全軌跡。権力中枢の不正を暴く調査報道だけでなく、社会のアンフェア構造を可視化するキャンペーン報道やルポルタージュにも光を当てて紹介する。

朝日新聞 2026/02/28

2025:12./ 385p  
978-4-8451-2154-0

¥2,530〔税込〕



### 最新報告混迷のリニア中央新幹線

檜田秀樹 著  
旬報社

リニア中央新幹線の開業延期は“静岡のせい”ではない。頻発する湧水、地盤沈下、残土処理などのトラブルと 10 年以上の工期遅れ。トンネルの先には見えない…。リニア問題に最も肉薄するジャーナリストによる最新ルポ。

東京・中日新聞 2026/02/01

2025:10./ 274p  
978-4-8451-2134-2

¥1,980〔税込〕



### 今は何時ですか？

丸谷才一 著  
新潮社

作家、エッセイスト、批評家、翻訳家として読者を愉ませつづけた稀代の文学者・丸谷才一。その生誕百年を記念し、知られざる傑作から遺作「茶色い戦争ありました」まで、全 4 編の短篇集未収録作を集めて収録する。

東京・中日新聞 2026/02/01、毎日新聞 2026/02/14

2025:12./ 155p  
978-4-10-320610-1

¥2,530〔税込〕





「言った者勝ち」社会～ポピュリズムと SNS 民意に政治はどう向き合うか～(朝日新書 1009)

朝日新聞取材班 著  
朝日新聞出版

ポピュリズム(大衆迎合主義)によって民意をまとめる手法は危いが、SNS による虚実ないまぜの膨大な情報は、選挙のあり方を変えている。派閥・中間団体が消滅し、ポピュリズム的傾向を強める現代日本の政治状況を追う。

東京・中日新聞 2026/02/07

2025:6./ 244p  
978-4-02-295322-3

¥957〔税込〕



雀ちよっちょ

村木嵐 著  
文藝春秋

瞬く間にスターダムに上りつめた大田南畝は、江戸の狂歌を牽引する存在になるが、松平定信の台頭により出版界に粛清の嵐が吹き荒れる。一方、長男・定吉には狂気の萌芽が見え-。『オール讀物』連載を単行本化。

東京・中日新聞 2026/02/07

2025:12./ 331p  
978-4-16-392049-8

¥2,200〔税込〕



辺境恋愛詩

雪舟 えま 著  
日本印刷(株) 出版・メディア事業部

家と対話ができる「家読み」のシガと、その助手ナガノ(訳ありのクローン)。愛し合うふたりは幸せな旅を続けていたが、ひとつの事件をきっかけに逃避行がはじまって…。SF 恋愛小説。『soyogo』連載を加筆修正。

東京・中日新聞 2026/02/07

2026:1./ 366p  
978-4-910681-02-3

¥3,080〔税込〕



明治・大正のロゴ図鑑～登録商標で振り返る企業のマーク～

友利 昂 著  
作品社

文具大手「コクヨ」の由来は「国の誉」と書いて「国誉」、全裸に靴下姿のキューピー、ドラゴンボール風ロゴなど、明治時代から大正時代にかけて生み出されたロゴマークの意外なエピソードと驚きのデザインを紹介。

東京・中日新聞 2026/02/14

2026:1./ 274p  
978-4-86793-128-8

¥2,640〔税込〕



共古・山中笑の忘れ残りの記～キリスト教と民俗学のあわいを生きる～

目時美穂 著  
文学通信

明治最初期のキリスト教伝道者にして、民俗学の先駆者でもあった山中共古、本名・笑。信仰と趣味に全力を注ぎ、幕末から昭和の初めまでを生き抜いた謎と矛盾多きその人生を、膨大な資料を博捜し、浮かび上がらせる。

東京・中日新聞 2026/02/15

2025:12./ 367p  
978-4-86766-115-4

¥2,970〔税込〕





### 原発をとめた人びと～奥能登・珠洲 震源地からの伝言～

七沢 潔 著  
地平社

2024年1月の能登半島地震で被災した珠洲市は、かつて原発の立地計画を住民運動が撤回させていた。原発が予定されていたのは、まさに震源地だった。現地取材により反原発の住民運動を再現するドキュメント。

東京・中日新聞 2026/02/15

2025:12./ 238p  
978-4-911256-37-4

¥1,980〔税込〕



### 飲中八仙歌～杜甫と李白～

千葉ともこ 著  
新潮社

悪政による貧困がはびこる唐代、仕官を願う杜甫は、花形詩人の李白ら憧れの酒豪を訪ねる。型破りな酒仙たちとの交流を通じ、杜甫は民のために皇帝に諫言することを決意するが…。『小説新潮』掲載を加筆修正。

東京・中日新聞 2026/02/21

2025:12./ 398p  
978-4-10-356571-0

¥2,695〔税込〕



### 独裁者の倒し方～暴君たちの実は危うい権力構造～

マーセル・デュルサス 著  
東洋経済新報社

「世界の厄介者」はなぜ倒れないのか？独裁者はその立場上、「穏やかに引退する」という出口戦略を持ちえず、常に脅威にさらされている。政権のパワーゲームという視点で、独裁制を読み解く。

東京・中日新聞 2026/02/21、日本経済新聞 2026/02/28

2026:1./ 328p  
978-4-492-22435-9

¥2,420〔税込〕



### ラクロワ姉妹(シムノン ロマン・デュール選集)

ジョルジュ・シムノン、瀬名 秀明、伊藤 直子 著  
東宣出版

ラクロワ邸には、姉ボルディーヌと妹マチルド、それぞれの家族が暮らしている。姉妹には長年の確執があった。ある日、マチルドの娘が食事中に倒れ、二度と歩けなくなる。ボルディーヌは、スープにヒ素が混入していたと知り…。

東京・中日新聞 2026/02/22

2026:1./ 214p  
978-4-88588-120-6

¥2,420〔税込〕



### かわいい中年

久保 ミツロウ、能町 みね子、ヒヤダイン 著  
中央公論新社

フジテレビ系トーク番組「久保みねヒヤダこじらせナイト」の収録後、出演者の久保ミツロウ、能町みね子、ヒヤダインの3人がくり広げる密室トークの記録。

『WEB 婦人公論』連載を書籍化。

東京・中日新聞 2026/02/28

2026:2./ 203p  
978-4-12-005990-2

¥2,090〔税込〕





### 岐路に立つドイツの「過去の克服」～イスラエル・パレスチナ紛争からの問い～

浅田進史／板橋拓己 著  
大月書店

ホロコーストへの反省とは何だったのか？ 思想・文学・政治学・歴史・社会学など様々な学問分野の執筆者らが、ドイツ-イスラエル-パレスチナ関係の歴史と現在を、複層的に描き出す。

東京・中日新聞 2026/02/28

2025:12./ 253p  
978-4-272-51021-4

¥2,970〔税込〕



### 神田愛山半生記～愛山取扱説明書～

神田 愛山／瀧口 雅仁 著  
田畑書店

人間国宝・一龍斎貞水が最も大切にした講釈師、神田愛山。自らを「うなだれて咲く花」と称し、<講談私小説>という独自の世界を築き上げてきた講釈師が、芸歴半世紀を越えた今だからこそ話せるあれこれを綴る。

東京・中日新聞 2026/02/28

2025:6./ 180p  
978-4-8038-0472-0

¥1,980〔税込〕



### ネズミはなぜ回し車で走るのか(岩波科学ライブラリー 340)

中島 定彦 著  
岩波書店

回し車で走るのはハムスターだけではない。ラットもマウスもニワトリもゴキブリも走る。なぜ走るのか。「いつまで走るの?」「楽しいの?」など、何気ないその素朴な疑問に、真正面から挑む。

読売新聞 2026/02/01

2025:12./ 132p  
978-4-00-029740-0

¥1,540〔税込〕



### 戦争の美術史(岩波新書 新赤版 2090)

宮下 規久朗 著  
岩波書店

戦争に対峙した芸術家は、その体験をいかに作品に投影したのか。戦争に関する古今東西の絵画や彫刻、記念碑、写真や映画を、おおむね時代順に振り返り、美術と戦争との関係について考察する。カラー図版も約 150 点収録。

読売新聞 2026/02/01

2025:11./ 286p  
978-4-00-432090-6

¥1,496〔税込〕



### 動物農場～新訳～(角川文庫 オ 2-2)

ジョージ・オーウェル、田内 志文 著  
KADOKAWA

泥酔した農場の主人を追い出し理想の国を築いた動物たち。しかし、一部の豚が君臨し始め…。権力と腐敗を風刺した傑作寓話小説を新訳。随筆「私はなぜ書くのか」も収録する。

読売新聞 2026/02/01

2025:11./ 223p  
978-4-04-116270-5

¥1,100〔税込〕





### 公式角川文庫横溝正史カバー画集

杉本一文 著  
KADOKAWA

1971年の「八つ墓村」第2版から、横溝正史の角川文庫作品のカバー装画を手掛け始めた杉本一文の画集。角川文庫を中心とした横溝作品のカバー装画など、妖艶美しい原画120点超を収録。ロングインタビュー、年譜も掲載。

読売新聞 2026/02/01

2025:12./ 159p  
978-4-04-116793-9

¥8,250〔税込〕



### 古墳時代の歴史(講談社現代新書 2792)

松木武彦 著  
講談社

古墳はなぜ造られた? 巨大化した理由は? 考古学の最前線では既成概念がひっくり返っていた? 3~7世紀、古墳時代の歴史を第一人者が編年体で叙述する。

読売新聞 2026/02/01

2025:10./ 262p  
978-4-06-541470-5

¥1,210〔税込〕



### カミカゼの幽霊~人間爆弾をつくった父~

神立 尚紀 著  
小学館

終戦の3日後、男は遺書を残し零戦に乗って飛び立ち、東の空のかなたに消えていった。名前を変え、素性を偽り戦後を生きた特攻兵器「桜花」の発案者・大田正一の謎多き生涯をたどる。

読売新聞 2026/02/01

2023:7./ 217p  
978-4-09-389126-4

¥1,980〔税込〕



### 恐るべき子どもたち(新潮文庫 コ-3-2)

ジャン・コクトー、村松潔 著  
新潮社

深く愛し合いながら同時に苦しめ合うエリザベートとポールの部屋へ、ジェラルトとアガートが加わり、世界は変質してゆく。純粹すぎたエリザベートが選んだ結末は…。フランス20世紀の古典を新訳。

読売新聞 2026/02/01

2025:11./ 182p  
978-4-10-217802-7

¥649〔税込〕



### 検視官の現場~遺体が語る多死社会・日本のリアル~(中公新書ラクレ 858)

山形 真紀 著  
中央公論新社

年間160万人が亡くなる「多死社会」日本。多くの人はどのように死を迎え、その現場で何が起きているのか。検視官として約1600体の遺体と対面した著者がさまざまなケースを紹介し、現代社会が抱える課題を照らし出す。

読売新聞 2026/02/01

2025:12./ 245p  
978-4-12-150858-4

¥1,100〔税込〕





「再征服」は、なぜ八百年かかったのか～レコンキスタ～(教養・文化シリーズ 世界史のリテラシー)

黒田祐我 著  
NHK出版

グラナダ陥落とコロンブスのアメリカ大陸到達が、1492年のスペインで起こったのはなぜか？南のアンダルスと北のキリスト教諸国による800年の混淆は何をもたらしたのか？イベリア半島の異彩・特性について考察する。

読売新聞 2026/02/01

2025:12./ 170p  
978-4-14-407338-0

¥1,265〔税込〕



人類はどれほど奇跡なのか～現代物理学に基づく創世記～

吉田 伸夫 著  
技術評論社

人間の存在は、物理法則を超越した奇跡ではないが、生きていることは、無数の偶然により実現された、奇跡的な出来事なのである。生命・知性・意識の3つの面から奇跡的な物理現象としての人類を語る、迫真のサイエンス読本。

読売新聞 2026/02/01

2023:3./ 175p  
978-4-297-13346-7

¥1,980〔税込〕



チータ・ユーマ～ラフカディオ・ハーン全小説～(河出文庫 コ12-4)

平川祐弘、ラフカディオ・ハーン(小泉八雲) 著  
河出書房新社

アメリカ南部を舞台に、大嵐に襲われながら生き残ったクレオール少女を描いた「チータ」、黒人奴隷女性を主人公とした「ユーマ」。ラフカディオ・ハーン=小泉八雲が、来日前に発表した出世作2編を収録する。

読売新聞 2026/02/01

2025:12./ 309p  
978-4-309-46824-2

¥1,100〔税込〕



六つ首村

折原一 著  
光文社

フリーライター・笹村克哉のもとに義理の姉と名乗る女がやってきた。笹村は六つ首村の名家・白兼家の後継者候補で、30年前の「六つ首村連続殺人事件」を生き延びた張本人だというのが…。『ジャーロ』連載を加筆・修正。

読売新聞 2026/02/01

2025:11./ 566p  
978-4-334-10812-0

¥2,750〔税込〕



近代日本メディア議員列伝<1> 大石正巳の奮闘

片山 慶隆 著  
創元社

明治から戦後にかけて<政治のメディア化>を体現した議員を取り上げ、教育・政治・メディアの観点から深掘りする。1は、自由民権運動あがりの策士にして、『自由新聞』社主、『政論』主筆も務めた大石正巳の人生を描く。

読売新聞 2026/02/01

2025:12./ 302p  
978-4-422-30101-3

¥2,970〔税込〕





## 高校のカフカ、一九五九

スティーヴン・ミルハウザー／柴田元幸 著

白水社

もしもあのカフカがアメリカの普通の高校生だったら？ 内気な青年カフカの思春期の日常を描く表題作、町中がこぞって梯子を天高く伸ばす熱に浮かされる狂乱を描く「梯子たちの夏」など、ちょっぴり不可思議な 9 篇を収録する。

読売新聞 2026/02/01

2025:12./ 192p  
978-4-560-02485-0

¥2,750〔税込〕



## 変な奴やめたい。

伊藤亜和 著

ポプラ社

セネガル人の血を引くルーツ、容姿からくる周囲の勘違い、コントロールできない自意識…。恥ずかしくも愛おしい子ども時代を振り返り、今の自分を見つめなおすエッセイ。『WEB asta』連載等に応じ書き下ろしを加え書籍化。

読売新聞 2026/02/01

2025:11./ 189p  
978-4-591-18775-3

¥1,760〔税込〕



## アルゴリズムミクな親密性～AI時代の恋愛・友情・カウンセリング～

アンソニー・エリオット 著

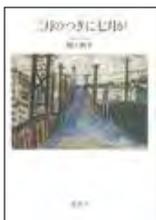
明石書店

予測分析が台頭するようになり、リアルとバーチャルの境界が融解する AI 時代。AI の偏在は親密性と両立するのか。機械学習予測アルゴリズムの理想と現実を、AI 彼氏/彼女などを例に、親密性の変容と結びつけて論じる。

読売新聞 2026/02/01

2025:11./ 318p  
978-4-7503-6024-9

¥3,080〔税込〕



## 二月のつぎに七月が

堀江敏幸 著

講談社

いつも同じ時間に「いちば食堂」にあらわれるひと。テーブルに古い文庫本を広げては手帖になにか書きものをして…。青果市場の敷地にある食堂を舞台に、常連客や町の人々が織りなす群像劇。『群像』連載を加筆修正し単行本化。

読売新聞 2026/02/01、毎日新聞 2026/02/07

2025:11./ 730p  
978-4-06-541385-2

¥4,730〔税込〕



## ポスト・スポーツの時代

山本 敦久 著

岩波書店

競技者と融合したテクノロジー、ゲームを支配するデータ解析…。大きな転換期を迎えたスポーツの未来と、社会と向き合いながら競技の可能性を探るアスリートたちの試みを読み解く。2020 年以降を見据えた新しいスポーツ論。

読売新聞 2026/02/08

2020:3./ 294p





### ブランコ

ブリッタ・テッケントラップ 著  
岩波書店

海辺の丘にたたずむブランコ。こどももおとなも、そこで海を見つめた。みんながあつまる場所でもあって、ひとりを味わうところでもあって…。訪れる人びとのかけがえのないひとときを、美しい絵と詩情ゆたかな言葉で紡ぐ物語。

読売新聞 2026/02/08

2025:11./ 152p  
978-4-00-061727-7

¥4,180〔税込〕



### 置き配的

福尾匠 著  
講談社

コロナ禍以降、社会は置き配的なものとなった。メッセージの伝達より「ポジション」というメタデータの共有が優先される社会で、いかにして言葉の力を取り戻すことができるかを考える。『群像』連載を改題、加筆修正。

読売新聞 2026/02/08

2025:11./ 237p  
978-4-06-540137-8

¥2,310〔税込〕



### 源氏の薫り(講談社学術文庫 2903)

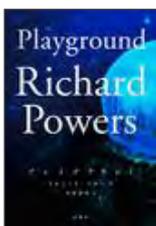
尾崎左永子 著  
講談社

仏教とともに渡来し、平安王朝文化の精髓「雅び」の構成要素となった薫香。恋の華やぎとあわれの世界、そこに浮き沈みする人々の哀歎…。紫式部が「源氏物語」に織り込んだ香りの演出をよみとく。

読売新聞 2026/02/08

2025:12./ 288p  
978-4-06-541676-1

¥1,540〔税込〕



### プレイグラウンド

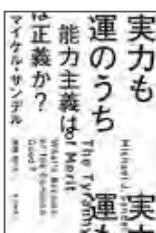
リチャード・パワーズ 著  
新潮社

南太平洋に浮かぶ人口 100 人弱のマカテア島。外国企業による海洋都市建設の計画が持ち上がり、開発か環境保護かの決断を迫られることに…。シンギュラリティーを前に文学の可能性を映し出す、謎と驚異に満ちた物語。

読売新聞 2026/02/08

2025:10./ 491p  
978-4-10-505878-4

¥4,950〔税込〕



### 実力も運のうち～能力主義は正義か?～(ハヤカワ文庫 NF 602)

マイケル・サンデル 著  
早川書房

努力と才能で、人は誰でも成功できる-能力主義の夢は残酷な自己責任論と表裏一体であり、勝者と敗者の間に未曾有の分断をもたらしている。この難題に解決策はあるのか? ハーバード大学哲学教授が能力主義の闇を暴く。

読売新聞 2026/02/08

2023:9./ 478p  
978-4-15-050602-5

¥1,650〔税込〕





**椿説弓張月<5>(光文社古典新訳文庫 KAキ 3-5)**

曲亭 馬琴 著

光文社

寧王女は舜天丸と紀平治に再会。阿公を追い詰める鶴と亀。為朝と舜天丸はふたたび首里を攻め…。源為朝を主人公に琉球王国再建の秘史を壮大なスケールで描く、曲亭馬琴の出世作。葛飾北斎の挿画も全点収録。

読売新聞 2026/02/08

2025:12./ 343p  
978-4-334-10874-8

¥1,386〔税込〕



**冤罪の深層〜追跡・大川原化工機事件〜**

石原大史 著

幻冬舎

軍事転用が可能な精密機器を不正に輸出したとして横浜市の中企業の社長ら3人が逮捕された大川原化工機事件。冤罪はなぜ起きたのか。警視庁公安部で何が起きていたのかを徹底検証する。NHKスペシャルをもとに書籍化。

読売新聞 2026/02/08

2025:12./ 371p  
978-4-344-04531-6

¥2,090〔税込〕



**「憲法十七条」を読みなおす**

石井 公成 著

春秋社

なぜ仏教や王の命令よりも先に「和」を論じるのか？なぜ三宝を信じるのではなく「敬う」のか？「憲法十七条」の正しい読み方を、仏教典籍調査や日本風の変格語法、「日本書紀」との関係に注目して明らかにする。

読売新聞 2026/02/08

2025:11./ 251p  
978-4-393-13473-3

¥2,750〔税込〕



**知はいかにして「再発明」されたか〜アレクサンドリア図書館からインターネットまで〜(ちくま学芸文庫 マ55-1)**

イアン・F.マクニーリー、リサ・ウォルヴァートン 著

筑摩書房

人類はどのようにして知識を生みだし、それを育み、蓄え、活用してきたか。図書館や修道院、大学、実験室など、古代から今日に至る西洋の知的生活を支配してきた6つの制度を取り上げて考察する。

読売新聞 2026/02/08

2025:12./ 386p  
978-4-480-51266-6

¥1,650〔税込〕



**ギリギリスの哲学〜ゲームプレイと理想の人生〜**

バーナード・スーツ 著

ナカニシヤ出版

人生にゲーム以上の意味は無い!? 寓話「アリとギリギリス」の“主人公”たるギリギリスが、その弟子たちと縦横無尽に繰り広げる、とびきりユニークで超本格的の哲学問答。

読売新聞 2026/02/08

2015:4./ 212p





### タイミングの社会学〜ディテールを書くエスノグラフィー〜

石岡 丈昇 著  
青土社

マニラの貧困地区で、何が起こるか分からない明日を待ち、絶えざる今を生きのびるとはどういうことか。社会学者である著者がおこなってきたフィールドワークの成果を、時間論の観点からまとめる。

読売新聞 2026/02/08

2023:5./ 416p  
978-4-7917-7556-9

¥3,520〔税込〕



### イッセーエッセー

イッセー尾形 著  
青土社

舞台のみならず映画やテレビドラマでも数多の人物に扮してきたこの役者自身は、いったい何者なのか。一人芝居の立役者・イッセー尾形による、くさぐさの随筆(エッセー)集。『西日本新聞』連載に書き下ろしを加えて書籍化。

読売新聞 2026/02/08

2025:12./ 224p  
978-4-7917-7754-9

¥2,860〔税込〕



### 呪いのウサギ(竹書房文庫 ぼ 2-1)

チョン・ボラ 著  
竹書房

親友がライバル会社の策略によって自殺。呪物を作る男が復讐のために作ったウサギは、ライバル会社のすべてをかじり尽くし…。表題作をはじめ、孤独に寄りそう“恐怖”と、その先に待つ美しく甘美な破滅を描いた異色短篇集。

読売新聞 2026/02/08

2025:12./ 311p  
978-4-8019-4741-2

¥1,760〔税込〕



### ほんとうの京都〜古都をめぐる知られざる 58 の視点〜(SB 新書 711)

柏井壽 著  
SBクリエイティブ

京都の真実をまだ誰も知らない。京都で生まれ育って70年のカリスマ案内人が、京都という土地、そこに住まう人びとによって育まれてきた<ほんとうの京都>をじっくりと紹介する。

読売新聞 2026/02/08

2025:11./ 270p  
978-4-8156-3335-6

¥1,100〔税込〕



### 「親日/反日」を越える韓国歴史論争〜英雄にも悪党にもなれない私たちへ〜

趙亨根、市村 三和 著  
ころから

日本による植民地支配の「功罪」をめぐる韓国国内では大きな論争が続いている。アーレントのアイヒマン論などを参照し、気鋭の歴史社会学者が韓国の「親日/反日」について論じる。

読売新聞 2026/02/08

2026:1./ 239p  
978-4-907239-80-0

¥3,520〔税込〕





### スポーツ人類学～グローバルゼーションと身体～

ニコ・ベズニエ／スーザン・プロウネル／トーマス・F・カーター 著  
共和国/editorial republica

オランダ、アメリカ、イギリスの研究者によるスポーツ人類学の概説書。スポーツの民族誌を、植民地主義、階級、ジェンダー、国家、メガイメントなど幅広い視座と社会科学の方法論を駆使して分析する。

読売新聞 2026/02/08

2020:9./ 473p  
978-4-907986-65-0

¥4,950〔税込〕



### 生きとるわ

又吉 直樹 著  
文藝春秋

公認会計士として傍目には順調な生活を送っている岡田。しかし、高校時代の仲間だった横井に500万円を貸したことから、人生が狂い始める。阪神優勝の夜、姿をくらましていた横井と再会し…。『文學界』連載を加筆・修正。

読売新聞 2026/02/08、日本経済新聞 2026/02/28

2026:1./ 445p  
978-4-16-392060-3

¥2,200〔税込〕



### 「酔っぱらい」たちの日本近代～酒とアルコールの社会史～(角川新書 K-499)

右田 裕規 著  
KADOKAWA

晩酌、宴会、接待…。日々の仕事と固く結びついてきた飲酒。「できる奴ほど酒を飲む」は、いつ生まれ、なぜ消えゆくのか？ 気鋭の社会学者が、20世紀の労働史を通じてその起源に迫る。

読売新聞 2026/02/15

2025:12./ 211p  
978-4-04-082529-8

¥1,034〔税込〕



### 一私小説書きの日乗<野性の章 遙道の章 不屈の章>(角川文庫 に18-8)

西村 賢太 著  
KADOKAWA

テレビ番組降板、悪友との喧嘩、元プロ野球選手やミュージシャンとの対談…。最後の無頼派作家・西村賢太が、リズムカルな文体で凡庸な日々を綴る日記文学。2013年5月から2016年6月までを収録する。

読売新聞 2026/02/15

2026:1./ 701p  
978-4-04-116657-4

¥1,650〔税込〕



### 一私小説書きの日乗<新起の章 堅忍の章 這進の章>(角川文庫 に18-9)

西村 賢太 著  
KADOKAWA

昼に起き、サウナで身を清め、新作の執筆にいそしむ。行きつけの酒場で酒を呑み…。最後の無頼派作家・西村賢太が、死の直前まで綴ったライフワークの日記文学。2016年6月から2022年1月までを収録する。

読売新聞 2026/02/15

2026:1./ 685p  
978-4-04-116658-1

¥1,650〔税込〕





### ノルウェイの森<上>(講談社文庫)

村上 春樹 著

講談社

暗く重たい雨雲をくぐり抜け、飛行機がハンプルク空港に着陸すると、天井のスピーカーから小さな音でビートルズの『ノルウェイの森』が流れ出した。

2004:9./ 302p  
978-4-06-274868-1

¥715〔税込〕



読売新聞 2026/02/15



### ノルウェイの森<下>(講談社文庫)

村上 春樹 著

講談社

あらゆる物事を深刻に考えすぎないようにすること、あらゆる物事と自分の間にしるべき距離を置くこと。あたらしい僕の大学生活はこうしてはじまった。

2004:9./ 293p  
978-4-06-274869-8

¥715〔税込〕



読売新聞 2026/02/15



### 世界から猫が消えたなら(小学館ジュニア文庫 ジか-2-2)

川村 元気 著

小学館

郵便配達員として働く僕は、余命わずかだと宣告される。すると、悪魔が「この世界から何かを消す。その代わりにあなたは1日だけ命を得る」という奇妙な取引を持ちかけてきて…。2016年5月公開映画の原作。

2016:4./ 221p  
978-4-09-230846-6

¥770〔税込〕



読売新聞 2026/02/15



### キッチン(新潮文庫)

吉本 ばなな 著

新潮社

読売新聞 2026/02/15

2002:6./ 197p  
978-4-10-135913-7

¥473〔税込〕



### 消滅世界(河出文庫 む 4-1)

村田 沙耶香 著

河出書房新社

人工授精で子を産むことが定着した世界。「両親が愛し合った末」に生まれた雨音は母に嫌悪感を抱いていた。雨音は清潔な結婚生活を送り、夫以外のヒトやキャラと恋愛を重ねる日々を送るが、それは移住した実験都市で一変し…。

2018:7./ 283p  
978-4-309-41621-2

¥693〔税込〕



読売新聞 2026/02/15



**小泉八雲～西洋脱出の夢～(河出文庫 ひ 15-4)**

平川 祐弘 著  
河出書房新社

「怪談」をはじめ再話文学の名作を生み、明治日本を世界に紹介したラフカディオ・ハーン=小泉八雲。その心の眼、心の耳は日本の何をとらえたのか。再評価の流れの大きなきっかけを作った、ハーン研究の第一人者による評伝。

読売新聞 2026/02/15

2026:1./ 459p  
978-4-309-42241-1

¥1,540〔税込〕



**人はなぜ爬虫類を飼うのか～ブームと規制の60年史～(光文社新書 1391)**

坂爪 真吾 著  
光文社

今では一般的となった爬虫類飼育という趣味を、これからも社会の中で持続可能なものにしていくには? 1960年代～2020年代の約60年間にわたる爬虫類飼育の歴史を、密輸や外来種の定着など、様々な事件とともに紹介。

読売新聞 2026/02/15

2025:12./ 326p  
978-4-334-10820-5

¥1,320〔税込〕



**小村雪岱デザイン大鑑**

山田俊幸/永山多貴子 著  
国書刊行会

泉鏡花本をはじめ、数多くの装幀・挿絵を彩った大正のデザイナー・小村雪岱。その独自の世界観を色彩・線描・構図・ディテールから徹底分析し、「雪岱デザイン」の成立と手法を体系化する。観音開きのページあり。

読売新聞 2026/02/15

2025:12./ 207p  
978-4-336-06253-6

¥5,940〔税込〕



**風に吹きはらわれてしまわないように(ちくま文庫 ふ 42-2)**

リチャード・ブローティガン 著  
筑摩書房

1940年代のアメリカ、オレゴン州。貧困の中での生存と気晴らし、池の端にソファやランプを並べて釣りをする夫婦、22口径の拳銃が起す悲劇…。風に吹きはらわれてしまいそうな人びとの物語を描く。

読売新聞 2026/02/15

2025:12./ 190p  
978-4-480-44072-3

¥990〔税込〕



**裸足で逃げる～沖縄の夜の街の少女たち～(ちくま文庫 う 52-1)**

上間 陽子 著  
筑摩書房

沖縄の風俗業界で働く女性たちの調査の記録。家族や恋人や知らない男たちから暴力を受けて育った少女たちが、そこから逃げて、自分の居場所をつくりあげるまでを綴る。「十年後」をくわえ文庫化。

読売新聞 2026/02/15

2025:12./ 314p  
978-4-480-44076-1

¥968〔税込〕





### 移民/難民の法哲学～ナショナリズムに向き合う～

横濱 竜也 著

白水社

ネーションに基づく集団的自律はどこまで擁護可能か？ 社会的包摂の望ましいあり方とは？ 経済的利益と排外感情に引き裂かれる外国人移民問題の論点を整理し、処方箋を提示する。

2025:10./ 240p  
978-4-560-02481-2

¥2,530〔税込〕



読売新聞 2026/02/15



### トーマス・マンはなぜ日本で愛されるのか

平野 啓一郎、鈴木 結生、小黒 康正 著

白水社

23歳で初の短編小説集を刊行したノーベル賞作家、トーマス・マン。その魅力を、23歳で芥川賞を受賞したふたりの小説家が著名な研究者とともに語り尽くす。

2025:12./ 167p  
978-4-560-02490-4

¥1,870〔税込〕



読売新聞 2026/02/15



### 希望のチョコレート～「平和」への願いをつくり続けるシリア難民家族の物語～

ジョン・タットリー、矢沢 聖子 著

原書房

2012年に内戦ですべてを失ったシリア難民一家。カナダに移住して始めた小さなチョコレート工房が、やがて国を動かす一大ブランドとなるまでのサクセスストーリー。

2026:2./ 277p  
978-4-562-07652-9

¥2,200〔税込〕



読売新聞 2026/02/15



### メゾン刻の湯(ポプラ文庫 お 18-1)

小野 美由紀 著

ポプラ社

内定のないまま大学を卒業したマヒコは、幼馴染に誘われ、築100年の銭湯「刻の湯」で暮らし始める。そこには“社会の正解”からはみ出したくせものばかりがいて…。青春群像劇。

2020:1./ 377p  
978-4-591-16588-1

¥814〔税込〕



読売新聞 2026/02/15



### ピダハン～「言語本能」を超える文化と世界観～

ダニエル・L.エヴェレット 著

みすず書房

ブラジルの先住民「ピダハン」には、数も、右と左の概念も、色名も、神もない。30年にわたり何度も彼らの村を訪ねてきた著者が、あらゆる西欧的な普遍幻想を揺さぶるピダハンの言語とユニークな認知世界を描く。

2012:3./ 390p  
978-4-622-07653-7

¥3,740〔税込〕



読売新聞 2026/02/15



### コーヒーが冷めないうちに

川口 俊和 著

サンマーク出版

結婚を考えていた彼氏と別れた女、記憶が消えていく男と看護師、家出した姉とよく食べる妹…。過去に戻れる喫茶店「フニクリフニクラ」を訪れた4人の女性たちが紡ぐ、家族と、愛と、後悔の物語。

読売新聞 2026/02/15

2015:12./ 348p  
978-4-7631-3507-0

¥1,430〔税込〕



9 784763 135070



### ヴィクトリア女王のハイランド地方日記抄

ヴィクトリア女王 著

彩流社

ヴィクトリア女王が1848年から1861年までに、スコットランド、ハイランド地方滞在中に書いた日記を翻訳。セクションごとに簡単な要約、地理、人物、出来事の説明も掲載する。

読売新聞 2026/02/15

2025:11./ 316p  
978-4-7791-3081-6

¥3,300〔税込〕



9 784779 130816



### あなたの顔はわたしたちのもの～顔認証AIの誕生と、プライバシーの終わりの物語～

カシミール・ヒル／高橋則明 著

実務教育出版

ネットにアップした写真が一瞬ひもづけられる、SF映画のようなディストピア的未來。知らぬ間に“監視される社会”は完成していた。ニューヨーク・タイムズの記者が、世界を揺るがす顔認証ビジネスの内幕に迫る。

読売新聞 2026/02/15

2026:1./ 445p  
978-4-7889-0839-0

¥2,750〔税込〕



9 784788 908390



### エコロジー階級の登場についての覚書

ブルーノ・ラトゥール、ニコライ・シュルツ 著

新評論

人間の生産システムは破壊システムの様相を呈し、甚大な気候危機を招いている。近代化の対案としてのエコロジー化に向けて政治的に活動する人々を念頭に、彼らが直面する様々な困難とそれに対処するための処方箋を提示する。

読売新聞 2026/02/15

2025:11./ 187p  
978-4-7948-1292-6

¥2,420〔税込〕



9 784794 812926



### 大地との遭遇～こんな幼稚園ありかよ～

税所篤快 著

ミシマ社

雪山をそりで疾走し、星空のもとでキャンプをし、焚き火を囲み本気のお話会をする…。移住先の長野小布施の幼稚園「大地」での2年間と主宰者夫婦の軌跡、卒園生たちのその後を記す。『みんなのミシマガジン』連載を再構成。

読売新聞 2026/02/15

2026:2./ 191p  
978-4-911226-29-2

¥2,200〔税込〕



9 784911 1226292



**クオーレ(岩波文庫 赤 N704-1)**

デ・アミーチス 著  
岩波書店

少年マルコが母親を捜してイタリアから遠くアンデスの麓の町まで旅する「母をたずねて三千里」の原作を収録。いつの時代でも変わらない親子の愛や家族の絆、博愛の精神を、心あたたまる筆致で描いたイタリア文学の古典的名作。

読売新聞 2026/02/22

2019:7./ 500p  
978-4-00-377007-8

¥1,254〔税込〕



**馬と人の古代史(角川選書 684)**

若狭 徹 著  
KADOKAWA

軍事・農耕・荷役・情報伝達・祭祀での役割を通して、馬が古代国家の形成と生活と心性に与えた影響を解説。考古学の成果を中心に、文献史学・動物考古学・分析科学を統合し、馬と人が織りなした古代史を捉え直す。

読売新聞 2026/02/22

2026:1./ 240p  
978-4-04-703748-9

¥2,200〔税込〕



**テルマエ・ロマエ<1>(BEAM COMIX)**

ヤマザキ マリ 著  
エンターブレイン

世界で最も風呂を愛しているのは、日本人とローマ人だ！！

読売新聞 2026/02/22

2009:11./ 138p  
978-4-04-726127-3

¥748〔税込〕



**いちえふ〜福島第一原子力発電所労働記〜<上>(講談社文庫 た 144-1)**

竜田 一人 著  
講談社

「暑い」「息苦しい」「鼻が痒い!」…。東日本大震災後に始まった福島第一原発、通称「いちえふ」の廃炉作業。福島第一原発作業員が、「福島の実実」と「作業員の日常」を漫画で描く。

読売新聞 2026/02/22

2026:2./ 282p  
978-4-06-542824-5

¥792〔税込〕



**いちえふ〜福島第一原子力発電所労働記〜<下>(講談社文庫 た 144-2)**

竜田 一人 著  
講談社

2014年夏、次なる職場は1号機原子炉建屋だった…。原発事故から15年経っても、そしてこれからも続く「福島の実実」を、福島第一原発、通称「いちえふ」の作業員が漫画で描く。新作エピソードも収録。

読売新聞 2026/02/22

2026:2./ 287p  
978-4-06-542825-2

¥792〔税込〕





### おおきな口がまっている

一條次郎 著  
集英社

ブギのリズムを生みだす古い洗濯機と、そのリズムに惹かれて踊りだしてしまう賢いネズミの友情物語「夜のあしおと」など、荒唐無稽な連作短編集。全6編を収録。

読売新聞 2026/02/22

2026:1./ 188p  
978-4-08-770037-4

¥1,980〔税込〕



### ローマ人の物語<1> ローマは一日にして成らず(上)(新潮文庫)

塩野 七生 著  
新潮社

読売新聞 2026/02/22

2002:5./ 197p  
978-4-10-118151-6

¥605〔税込〕



### ローマ人の物語<2> ローマは一日にして成らず(下)(新潮文庫)

塩野 七生 著  
新潮社

ギリシアから視察団が戻り、前449年、共和政ローマは初の成文法を発表。しかしその内容は平民の望むものとは程遠く、貴族対平民の対立の構図は解消されなかった。

読売新聞 2026/02/22

2002:5./ 240p  
978-4-10-118152-3

¥649〔税込〕



### 善良なウイルス～世にも数奇なファージ医療の歴史～

トム・アイルランド、野中 香方子 著  
文藝春秋

地球には「善良」なウイルスが満ちている。その名は「ファージ」。細菌を倒すウイルスである。薬剤耐性菌が跋扈する人類の危機を前に救世主として注目を集めている。ファージ研究の数奇な運命とその最前線を解き明かす。

読売新聞 2026/02/22

2025:11./ 373p  
978-4-16-392046-7

¥2,970〔税込〕



### 本当の戦争の話をしよう(文春文庫)

ティム・オブライエン 著  
文芸春秋

人を殺すということ、失った戦友、帰還の後の日々。ベトナム戦争で若者が見たものとは？ 胸の内に「戦争」を抱えたすべての人に贈る真実の物語。鮮烈な短篇作品二十二篇収録。

読売新聞 2026/02/22

1998:2./ 395p  
978-4-16-730979-4

¥968〔税込〕





### コルシア書店の仲間たち(文春文庫)

須賀 敦子 著  
文藝春秋

かつてミラノに、懐かしくも奇妙な一軒の本屋があった。そこに出入りするのもまた、懐かしくも奇妙な人びとだった。女流文学賞受賞の筆者が流麗に描くイタリアの人と町。

読売新聞 2026/02/22

1995:11./ 237p  
978-4-16-757701-8

¥583〔税込〕



### シモネッタのデカメロン～イタリア的恋愛のススメ～(文春文庫)

田丸 公美子 著  
文芸春秋

巨漢中年が日本出張のたび女性をモノにできるわけは？ 通訳歴 30 年の著者が見たイタリア人のくどきのテク満載の爆笑エッセイ

読売新聞 2026/02/22

2008:2./ 288p



### モンテレッジョ小さな村の旅する本屋の物語(文春文庫 う 30-3)

内田 洋子 著  
文芸春秋

イタリアの権威ある書店賞発祥の地がなぜ、トスカーナの山奥にあるのか？ 舞台となった山深きモンテレッジョ村に居を構え取材した著者による歴史ノン・フィクション。

読売新聞 2026/02/22

2021:11./ 330p  
978-4-16-791787-6

¥935〔税込〕



### 集団とは何か～人間が「集まる」意味を人類学から解き明かす～

福井 勝義 著  
河出書房新社

昆虫から霊長類まで、そして狩猟採集民、遊牧民、農耕牧畜民など、人間の「集合と集団」の原理を求めて、徹底的なフィールドワークを行った新進気鋭の 18 人による人類学・動物行動学の研究成果。討論も収録する。

読売新聞 2026/02/22

2025:12./ 509p  
978-4-309-22985-0

¥14,080〔税込〕



### 神を見た犬(光文社古典新訳文庫)

ブツァーティ、関口 英子 著  
光文社

読売新聞 2026/02/22

2007:4./ 402p  
978-4-334-75127-2

¥836〔税込〕





### ピノッキオの冒険(光文社古典新訳文庫 KA コ 9-1)

カルロ・コッローディ 著  
光文社

一本の棒っきれから作られた少年ピノッキオは、誘惑に屈して騒動を巻き起こす。周囲の大人たちを裏切り続ける悪たれ小僧の運命は？19世紀後半イタリア国家統一の時代、子どもに対する切なる願いを込めて書かれた児童文学。

読売新聞 2026/02/22

2016.11./ 387p  
978-4-334-75343-6

¥924〔税込〕



9 78 43 34 75 34 36



### エラスムス像の謎～古刹の伝貨狄像に秘められた壮大な歴史ロマン～

森 良和 著  
玉川大学出版部

栃木の古刹・龍江院にオランダ船リーフデ号の船尾像・エラスムス立像が眠っていた。像は、いつ、どこで作られ、どのような経緯で龍江院にもたらされたのか。最近明らかになったいくつかの新知見を携え、その謎に迫る。

読売新聞 2026/02/22

2025.11./ 232p  
978-4-472-30316-6

¥2,640〔税込〕



9 78 44 72 30 31 66



### 現代戦争論～ロシア・ウクライナから考える世界の行方～(ちくま新書 1900)

小泉 悠 著  
筑摩書房

ウクライナ戦争はなぜここまで長期化したのか。米トランプ政権成立で激変した世界秩序の中、日本はいかにふるまうべきか。21世紀における戦争をどう考えたいのか。詳細なデータとともに戦争の本質に迫る。

読売新聞 2026/02/22

2026.2./ 288p  
978-4-480-07732-5

¥1,078〔税込〕



9 78 44 80 07 73 25



### 本に狂う～草森紳一ベスト・エッセイ～(ちくま文庫 く 36-1)

平山周吉 編  
草森紳一 著  
筑摩書房

多様かつ膨大な本を集めて読みこなし、ものを書く喜びに一生を捧げた稀代の雑文家=随筆家、草森紳一。筆と思考、想念の赴くままに綴った本にまつわる話を中心に、オーバージャンルな文章を選りすぐったベスト・エッセイ集。

読売新聞 2026/02/22

2026.2./ 397p  
978-4-480-44067-9

¥1,210〔税込〕



9 78 44 80 44 06 79



### カフェの帰り道

嶋津 輝 著  
東京創元社

流行りに乗り切れない、長閑な「カフェ西行」で女給たちは朗らかに働いた。時代を映す鏡であった仕事「女給」を通し、大正から昭和を生きた市井の人生を描き出す。『紙魚の手帖』掲載に書き下ろしを加え単行本化。

読売新聞 2026/02/22

2025.11./ 227p  
978-4-488-02936-4

¥1,870〔税込〕



9 78 44 88 02 93 64



### ミラノ霧の風景～須賀敦子コレクション～(白水Uブックス)

須賀 敦子 著

白水社

記憶の中のミラノには、今もあの霧が静かに流れている。イタリアで暮らした遠い日々を追想し、人、町、文学とのふれあいと言葉にならぬため息をつづる追憶のエッセイ。講談社エッセイ賞、女流文学賞受賞。90年刊の再刊。

2001:12./ 222p  
978-4-560-07357-5

¥957 [税込]



読売新聞 2026/02/22



### 読書アンケート～識者が選んだ、この一年の本～<2025>

みすず書房 編

みすず書房

青木薫(翻訳家)、山内一也(ウイルス学)、坂内徳明(ロシア民俗学史)、早川由真(映画研究)...。161人の有識者が、新刊・既刊を問わず、2025年中に読んだ本の中から印象深かったものを取り上げて解説する。

2026:2./ 201p  
978-4-622-09842-3

¥990 [税込]



読売新聞 2026/02/22



### 経済学を手がかりに、都市と地方を論じてみよう

佐藤 泰裕 著

有斐閣

東京一極集中は是正すべきか？ 地方から東京への大学進学は抑制すべきか？ 人口減少で揺れる都市と地方の課題を、データと経済学で多角的に解き明かす。『Wedge ONLINE』連載を大幅加筆。

2025:12./ 192p  
978-4-641-16658-5

¥1,980 [税込]



読売新聞 2026/02/22



### 「なむ」の来歴

斎藤 真理子 著

イースト・プレス

日本、韓国、沖縄、どこへ行っても本は木(なむ)でできていた。翻訳者である著者がこれまで生きてきた地で感じたこと、言葉にしたこと、詩で表現したことなど、三点測量するように書いてきたエッセイを集大成。

2025:11./ 274p  
978-4-7816-2508-9

¥1,980 [税込]



読売新聞 2026/02/22



### 食べた後どうなっているのか図鑑～動物の消化器の秘密～

アイナ・ベスタール、ピクトル・サバテ 著

日経ナショナルジオグラフィック社

いつ、何を食べて、どうやって栄養を得て、どこから出しているの？ その動物が食べられてしまう天敵は？ 動物が生きていくことに欠かせない消化器系をめぐる旅を、美しいイラストで楽しく解説する。

2025:12./ 171p  
978-4-86313-645-8

¥3,960 [税込]



読売新聞 2026/02/22



### シオニズム～イスラエルと現代世界～(岩波新書 新赤版 2087)

鶴見 太郎 著  
岩波書店

パレスチナにユダヤ人の民族的拠点をつくるという思想・運動である「シオニズム」。ホロコースト以前に東欧で生まれ、建国後はイスラエルを駆動し続ける思想の起源と変遷を、国際社会との関わりの中で描く。

日本経済新聞 2026/02/07

2025:11./ 302p  
978-4-00-432087-6

¥1,232〔税込〕



### 管理職の戦後史～栄光と受難の80年～(朝日新書 1033)

濱口桂一郎 著  
朝日新聞出版

常に「日本型雇用システム」の重要なアクターであり続けてきた管理職。終戦直後は労働運動の先頭に立ち、今日では働き方改革から取り残され、その言動がパワハラとされ…。戦後日本社会の管理職の姿の変遷を描き出す。

日本経済新聞 2026/02/07

2025:11./ 340p  
978-4-02-295345-2

¥1,045〔税込〕



### 黄金の稲とヘッジファンド(角川文庫 は 81-2)

波多野 聖 著  
KADOKAWA

世界最大のヘッジファンド、第一次産業中央金庫に就職した城山良太は、研修先の淡路島の長閑な光景に衝撃を受けた。翌年、営業部へと異動になった良太は、融資部門でかつてない業績を挙げ、頭角を現していくが-

日本経済新聞 2026/02/07

2021:2./ 375p  
978-4-04-110903-8

¥858〔税込〕



### さよならに反する現象(角川文庫 お 52-6)

乙一 著  
KADOKAWA

心霊写真に写りたい幽霊が会ったのは、心霊写真を作ることが趣味の青年で…。「悠川さんは写りたい」をはじめ全9編を収録する、切なくて怖くて優しい短編集。単行本未収録作品と書き下ろしを加え文庫化。

日本経済新聞 2026/02/07

2026:1./ 218p  
978-4-04-116120-3

¥836〔税込〕



### 見えない死神～原発不明がん、百六十日の記録～

東えりか/下山達 著  
集英社

突然、夫が「原発不明がん」だと告げられた-。発症から亡くなるまでの約160日間を克明に綴るとともに、医療関係者への取材を通し、治療の最前線に迫るノンフィクション。最新情報・動画のQRコード(図書館利用可)付き。

日本経済新聞 2026/02/07

2025:10./ 335p  
978-4-08-781768-3

¥2,200〔税込〕





### 破戒 改版(新潮文庫)

島崎藤村 著

新潮社

日本経済新聞 2026/02/07

2005:7./ 500p

978-4-10-105507-7

¥935〔税込〕



### 灯台へ(新潮文庫 ウ-28-1)

ヴァージニア・ウルフ 著

新潮社

スコットランドの小島のある夏の1日と、第一次大戦を経た10年後の1日。たった2日の出来事を綴ることによって愛の力を描き出し、文学史を永遠に塗り替え、女性作家の地歩をも確立したイギリス文学の傑作。

日本経済新聞 2026/02/07

2024:10./ 419p

978-4-10-210702-7

¥935〔税込〕



### 世界はいつまで食べていけるのか〜人類史から読み解く食料問題〜

バーツラフ・シュミル、栗木 さつき 著

NHK出版

世界は必要量より食料を多く生産しているのに、人々は飢え、廃棄されている。人類が肉食に移行すればよいのか、培養肉や代替肉などのテクノロジーは解決策となるのか。知の巨人が壊れた食料システムに対する解決策を提示する。

日本経済新聞 2026/02/07

2025:12./ 301p

978-4-14-082003-2

¥2,860〔税込〕



### 波 新訳版

ヴァージニア・ウルフ 著

早川書房

遠い太陽の光が海辺の一日に降り注ぎ、生まれては消える波のうねりを情感豊かに描きだす。男女6人の独白が物語るのは、幻想のように過ぎた半生の思い出。清冽な言葉がつらなり輝く、ヴァージニア・ウルフの傑作の新訳。

日本経済新聞 2026/02/07

2021:6./ 372p

978-4-15-210027-6

¥2,750〔税込〕



### 人はなぜ記憶するのか〜脳と自己の科学〜

チャラン・ランガナス／梶山あゆみ 著

早川書房

記憶とは、頭の中に情報を保存するだけでなく、感覚と結びつきながらその都度よみがえる動的な現象である。神経科学者であり心理学者でもある著者が、記憶=固定的なものというイメージを覆す。

日本経済新聞 2026/02/07

2025:12./ 334p

978-4-15-210486-1

¥3,630〔税込〕





### ロスジェネの逆襲(文春文庫 い 64-7)

池井戸 潤 著  
文藝春秋

子会社・東京セントラル証券に出向した半沢直樹に、IT 企業買収の案件が転がり込んだ。巨額の収益が見込まれたが、親会社・東京中央銀行が卑劣な手段で横取り。半沢は、若い部下とともに「倍返し」を狙う。シリーズ第 3 弾。

日本経済新聞 2026/02/07

2015:9./ 421p  
978-4-16-790438-8

¥770〔税込〕



### ある町の高い煙突(文春文庫 に 1-45)

新田 次郎 著  
文藝春秋

煙害撲滅を粘り強く訴えた若者と、世界一高い煙突を建てて、住民との共存を目指した企業の決断。足尾や別子の悲劇を日立鉱山では繰り返さない。今日の CSR(企業の社会的責任)の原点を描いた 1968 年の力作。

日本経済新聞 2026/02/07

2018:3./ 372p  
978-4-16-791036-5

¥825〔税込〕



### インフラ崩壊～老朽化する日本を救う「省インフラ」～(日経プレミアシリーズ 539)

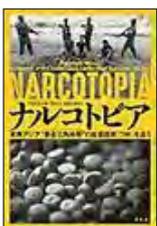
根本祐二 著  
日経 B P 社

道路、橋、上下水道、市役所、学校などインフラの老朽化が全国で深刻化している。なぜこのような事態になったのか、どのような対策を打てばいいのか。解決の決め手となる「省インフラ」の具体策を解説する。

日本経済新聞 2026/02/07

2025:11./ 293p  
978-4-296-12536-4

¥1,210〔税込〕



### ナルコトピア～東南アジア“黄金三角地帯”の麻薬国家「ワ州」を追う～

パトリック・ウィン／加賀山卓朗 著  
光文社

世界最大の麻薬生産地を支配する「ワ州」の正体とは。CIA、DEA、中国共産党などいかに渡り合ってきたのか。密売人たちが跋扈する世界を半世紀以上のスケールで描くノンフィクション。

日本経済新聞 2026/02/07

2025:11./ 509p  
978-4-334-10802-1

¥3,520〔税込〕



### 100歳まで生きて資産を枯渇させない方法(幻冬舎新書 の4-1)

野尻哲史 著  
幻冬舎

「お金の引き出し方」を「工夫」するだけで資産額は大きく変わる! 「長生きしてもお金がもつかどうか」と不安になる人に向け、人生を楽しむためにお金をしっかりと使いつつ、資産を 100 歳まで枯渇させない手法を解説する。

日本経済新聞 2026/02/07

2025:1./ 188p  
978-4-344-98758-6

¥1,034〔税込〕





### アメリカの覇権喪失と世界の転換(筑摩選書 0318)

浅海 保 著  
筑摩書房

なぜアメリカは覇権を失ったのか。中国はアメリカに代わる覇権国となりうるのか。その中で日本はどう動くべきなのか。大転換の時を迎えた国際社会における、世界各国の動きと今後の展望をジャーナリストが鮮やかに読みとく。

日本経済新聞 2026/02/07

2025.11./ 350p  
978-4-480-01837-3

¥2,310 [税込]



### 人口減少社会のデザイン

広井 良典 著  
東洋経済新報社

借金の先送り、格差拡大、社会的孤立の進行。2050年、日本は持続可能か？ 日立京大ラボのAIによる未来シミュレーションをもとに、財政・社会保障から環境・資源まで、日本が持続可能であるための条件や政策を提言する。

日本経済新聞 2026/02/07

2019.9./ 315p  
978-4-492-39647-6

¥1,980 [税込]



### ストーリーとしての競争戦略～優れた戦略の条件～(Hitotsubashi Business Review Books)

楠木 建 著  
東洋経済新報社

戦略の神髄は、思わず人に話したくなるような面白いストーリーにある。多くの事例をもとに、「ストーリー」という視点から、究極の競争優位をもたらす論理を解明する。

日本経済新聞 2026/02/07

2010.4./ 544p  
978-4-492-53270-6

¥3,300 [税込]



### 道をひらく

松下幸之助 著  
PHP研究所

本書は、松下幸之助が自分の体験と人生に対する深い洞察をもとに綴った短編随想集である。これまで、どれほど多くの人が本書に勇気づけられ、また成功への指針としてきたことか。この本には、時代を超えて生き続ける不変の真理があるからである。

日本経済新聞 2026/02/07

1968.1./ 271p  
978-4-569-53407-7

¥1,210 [税込]



### 自分ひとりの部屋(平凡社ライブラリー 831)

ヴァージニア・ウルフ 著  
平凡社

<女性と小説>というテーマで講演を頼まれた語り手は、収入も自分の部屋もなかった、もの書く女性たちに思いをはせる。講演をもとに、物語の形をとりながら女性の文学の歴史と未来への期待を紡いだフェミニズム批評の新訊。

日本経済新聞 2026/02/07

2015.8./ 269p  
978-4-582-76831-2

¥1,540 [税込]





### ヴァージニア・ウルフ エッセイ集(平凡社ライブラリー 1003)

ヴァージニア・ウルフ 著  
平凡社

初期から晩年まで、ヴァージニア・ウルフの思想をたどるオリジナル・アンソロジー。「ロンドン上空を飛ぶ」「女性にとっての職業」「空襲下で平和について考える」などのほか、初訳を多数含む全 25 篇のエッセイを収録。

日本経済新聞 2026/02/07

2025:12./ 389p  
978-4-582-77003-2

¥1,980〔税込〕



### 無党派層の研究

田中 愛治、遠藤 晶久 著  
有斐閣

政治的関心が高く、政治的知識も豊富な「積極的無党派層」。時に選挙結果を左右しうる存在となる日本の無党派層を多角的に実証分析し、国際比較を通じて、民主主義における無党派層の役割を明らかにする。

日本経済新聞 2026/02/07

2025:11./ 332p  
978-4-641-14938-0

¥4,510〔税込〕



### ブラック・ウイメンズ・カルチャー～音楽からみる人種と性の闘いの物語～

臼井 雅美 著  
明石書店

黒人霊歌、ゴスペル、ブルース、ジャズ、R&B、ヒップホップ…。ブラックカルチャーの中で、女性アーティストたちはどのように自己表現をして人種や性の壁を乗り越えるために闘ったのか？ その葛藤と人生を紹介する。

日本経済新聞 2026/02/07

2025:10./ 389p  
978-4-598-5998-4

¥4,180〔税込〕



### オードリー・タン デジタルと AI の未来を語る

オードリー・タン 著  
プレジデント社

2020 年に全世界を襲った新型コロナウイルスの封じ込めに成功した台湾。その中心的な役割を担った IT 業界の異才が、コロナ対策成功の秘密、デジタルと民主主義、AI と社会等について語る。日本へのメッセージも収録。

日本経済新聞 2026/02/07

2020:12./ 252p  
978-4-8334-2399-1

¥1,980〔税込〕



### キーワードで読むヴァージニア・ウルフ～作品も作家もこの一冊で！～

日本ヴァージニア・ウルフ協会／松永典子／松宮園子／伊藤節／浦野郁／奥村沙矢香／酒井祐輔／原田洋海／山本妙 編  
小鳥遊書房

フェミニズム、階級、戦争、モダニズム/モダニティ、教育、病、セクシュアリティ…。さまざまなキーワードによって、ヴァージニア・ウルフの作品、作家本人、取り巻く人物たち、作家が生きた時代を立体的に浮かび上がらせる。

日本経済新聞 2026/02/07

2025:8./ 430p  
978-4-86780-080-5

¥3,740〔税込〕





### 松本清張の昭和(講談社現代新書 2800)

酒井信 著  
講談社

昭和を代表する文豪・松本清張はいかにして誕生したか。幼少期の秘話、思春期以後の恋愛、戦争体験など、清張の生涯を知られざるエピソードとともに詳細に明かした初の本格評伝。

日本経済新聞 2026/02/07、東京・中日新聞 2026/02/08

2025:12./ 262p  
978-4-06-542230-4

¥1,210 [税込]



### 光と糸

ハン・ガン 著  
河出書房新社

傷と痛みと回復の過程を描き、人の尊厳のありかを示す作家ハン・ガン。ノーベル文学賞受賞記念講演、エッセイ、詩、日記、写真を著者自ら編んだ、命と光をめぐる祈りのメッセージ。

日本経済新聞 2026/02/07、読売新聞 2026/02/15

2025:12./ 210p  
978-4-309-20941-8

¥2,200 [税込]



### スロウ・ブランディング～記憶から価値をつくるこれからのブランドの教科書～

江上 隆夫 著  
朝日新聞出版

マーケティングとの違いは何か。AIが進化し続けスピードが求められる世界で、ブランディングにどう取り組むべきか。多様化した「ブランド」の定義を原型に戻って再定義し、ブランディングの神髄をシンプルに解説する。

日本経済新聞 2026/02/14

2025:11./ 307p  
978-4-02-332460-2

¥1,980 [税込]



### アルジェリア戦争～フランスと戦後世界をつくった植民地独立闘争～(中公新書 2892)

黒田 友哉 著  
中央公論新社

東西冷戦下、第三勢力台頭の機運を背景に激化した植民地独立闘争、アルジェリア戦争。約8年に及んだ戦争はフランスと国際社会に何をもたらしたのか。今日の移民問題にも密接に関わる歴史的事件を見直す。

日本経済新聞 2026/02/14

2026:1./ 208p  
978-4-12-102892-1

¥990 [税込]



### 建築のラグジュアリー～物質と構築がつむぐ建築史～

加藤 耕一 著  
東京大学出版会

時間変化にさらされる「物質(モノ)」としての建築と、時間をこえて生き続ける「建てる技芸(アート)」としての建築。ふたつの視点から西洋建築の歴史をとらえなおし、真に豊かな建築文化のありかを示す。

日本経済新聞 2026/02/14

2025:11./ 386p  
978-4-13-061146-6

¥3,960 [税込]





### 中世ヨーロッパの魔術師

タビサ・スタンモア、ダコスタ吉村花子 著

河出書房新社

スプーンをなくした! お金がほしい! 王を呪い殺したい! 中世ヨーロッパとくにイギリスにおける、人々の間で日常的に発生する諸問題を解決し、願いを叶えてくれる魔術師とその技法を、多くのエピソードとともに描く。

日本経済新聞 2026/02/14

2025:12./ 305p  
978-4-309-23174-7

¥3,190〔税込〕



### 教師と支援者のための“令和型不登校”対応クイックマニュアル～えっ、なんであの子が不登校?～

神村 栄一 著

ぎょうせい

最近、不登校の傾向が変わってきている。心理の専門家である著者が、原因が見当たらない“令和型不登校”に合った対応を提案する。チェックシートやワークシートのダウンロードサービス付き。

日本経済新聞 2026/02/14

2024:1./ 128p  
978-4-324-11323-3

¥2,200〔税込〕



### 議会制民主主義という神話～イギリス近代史の真実～(筑摩選書 0320)

君塚直隆 著

筑摩書房

ディズレーリ vs. グラッドストンの「奇蹟の10年間」にイギリス政治は地主貴族階級主体の貴族政治から、労働者階級までを取り込んだ大衆民主政治へと転換を遂げた。この原点からイギリス議会政治の本質を捉え直す。

日本経済新聞 2026/02/14

2025:12./ 286p  
978-4-480-01839-7

¥2,090〔税込〕



### 友だちは無駄である(ちくま文庫)

佐野 洋子 著

筑摩書房

日本経済新聞 2026/02/14

2007:2./ 222p  
978-4-480-42309-2

¥638〔税込〕



### 不登校のあの子に起きていること(ちくまプリマー新書 496)

高坂 康雅 著

筑摩書房

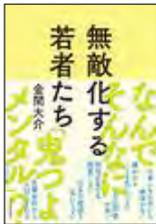
もしクラスの子が、自分が、わが子が、不登校になったとき、どんな困難や解決方法があるのか。学校に行かない・行けない彼らを取りまく環境はどうなっているのか。子どものつらい気持ち、親の孤立などの現状を伝える。

日本経済新聞 2026/02/14

2025:7./ 223p  
978-4-480-68527-8

¥990〔税込〕





### 無敵化する若者たち

金間 大介 著

東洋経済新報社

安定志向が強く、仕事に対する熱意や欲求がない。上の世代がためらうような権利主張を平気でする。自己評価が高い。アウトではないけど微妙に失礼…。現代の若者たちの行動と心理を、「無敵」をキーワードに可視化する。

日本経済新聞 2026/02/14

2026:1./ 301p  
978-4-492-22433-5

¥1,760 [税込]



### 場面～報道の現場から見つめた韓国社会～(サピエンティア 80)

孫石熙、権学俊 著

法政大学出版局

韓国の保守政権下でメディアへの圧力や介入が強まるなか、いかに権力と戦い、真実を報じつづけたのか。韓国の世論調査で「最も信頼できるジャーナリスト」第1位に約20年選ばれた著者が、自身が報じてきた歴史的な事件を描く。

日本経済新聞 2026/02/14

2025:12./ 400p  
978-4-588-60380-8

¥3,300 [税込]



### 消費税と政治～財政再建をめぐる理念と思惑～

上川 龍之進 著

有斐閣

日本の財政赤字はなぜ生まれ、なぜ再建が進まないのか。財政再建策としての「消費税」をめぐる政治的攻防を軸に、首相たちの理念と思惑を描き出す。財政と民主主義の関係を考えるための一冊。

日本経済新聞 2026/02/14

2025:12./ 400p  
978-4-641-14960-1

¥3,630 [税込]



### 静かなる占領～したたかな敗者としての日本人～

賀茂 道子 著

慶應義塾大学出版会

占領軍の支配のもとで、日本人はいかに生き延び、新たな社会をつくったのか。GHQによる検閲、天皇観の揺れ、戦犯への視線。徳富蘇峰と山田風太郎のまなざしを軸に、多様な史料を読み解き、敗者たちの生のかたちを描く。

日本経済新聞 2026/02/14

2025:12./ 432p  
978-4-7664-3064-6

¥3,740 [税込]



### 「キャンセル・カルチャー」パニック～パニックを生み出す言説空間～

アドリアン・ダウブ 著

青土社

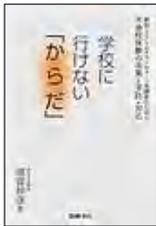
「ポリティカル・コレクトネス」批判の再来でありながらも、アテンション・エコノミーの力を借りつつますます広く拡散されている「キャンセル・カルチャー」批判。この集団的熱狂に火をくべているものは何かを解き明かす。

日本経済新聞 2026/02/14

2025:12./ 400p  
978-4-7917-7757-0

¥3,740 [税込]





### 学校に行けない「からだ」～不登校体験の本質と予防・対応～

諸富祥彦 著  
図書文化社

不登校体験の本質は「からだ」の変容。不登校の予防・対応で着目すべきは「気持ち」ではなく「からだ」。不登校体験の本質を子どもの視点に立って解き明かし、とるべき支援策、不登校を減らすための方策を具体的に紹介する。

日本経済新聞 2026/02/14

2022:7./ 206p  
978-4-8100-2767-9

¥1,760〔税込〕



9 78 48 10 02 76 79



### バウムガートナー

ポール・オースター／柴田元幸 著  
新潮社

妻アンナの死をいまでも受け容れられずにいる S・T・バウムガートナー。妻の遺した原稿や詩を読み耽る彼に、恩寵が訪れ…。ポール・オースター最後の小説。『MONKEY』掲載に訳し下ろしを加え単行本化。

日本経済新聞 2026/02/14、朝日新聞 2026/02/21

2025:12./ 213p  
978-4-10-521723-5

¥2,530〔税込〕



9 78 41 05 21 72 35



### 世界浴場見聞録

こばやし あやな 著  
学芸出版社

タイの芳香豊かな蒸気浴、ロシア帝政期の階層社会が生んだ灼熱の公衆浴場、日本の下町銭湯…。まだ見ぬ入浴文化を探して 50 カ国を旅した、フィンランド在住のサウナ文化研究者によるエッセイ。

日本経済新聞 2026/02/14、朝日新聞 2026/02/28

2025:12./ 238p  
978-4-7615-2958-1

¥2,420〔税込〕



9 78 47 61 52 95 81



### 日本の就活～新卒一括採用は「悪」なのか～(岩波新書 新赤版 2088)

常見 陽平 著  
岩波書店

学歴フィルターにオワハラ、学業の阻害といった様々な問題が山積みの就職活動。財界も学者もその原因は「新卒一括採用」にあるというが、それは本当か。就職活動の現実を直視し、労働社会の根幹にメスを入れる。

日本経済新聞 2026/02/14、読売新聞 2026/02/22

2025:11./ 204p  
978-4-00-432088-3

¥990〔税込〕



9 78 40 04 32 08 83



### 日本俗信辞典<食物編>(角川ソフィア文庫 J132-5)

花部 英雄 著  
KADOKAWA

「梅干しとウナギは食い合わせが悪い」「猫がイカを食べると腰を抜かす」…。米や酒などの食べ物飲み物から、薬や煙草まで、口に入れるものに関する言い伝え 700 例以上を収録する。

日本経済新聞 2026/02/14、読売新聞 2026/02/22

2026:1./ 322p  
978-4-04-400864-2

¥1,540〔税込〕



9 78 40 44 00 86 42



### 新・解きたくなる数学

佐藤 雅彦／大島 遼／廣瀬 隼也 著  
岩波書店

「ピタゴラスイッチ」制作メンバーが作った、論理的思考が身につく数学問題集。  
「倍数と約数」「対称性」「幾何」「存在定理」などを魅力的な写真とグラフィックで表現した、全 25 問を収録する。

日本経済新聞 2026/02/21

2025:11./ 133p  
978-4-00-005475-1

¥2,200〔税込〕



### 漱石文明論集(岩波文庫 緑 11-10)

三好 行雄 編  
夏目 漱石 著

岩波書店

圧倒的な優位にたつ西洋文明を向うにまわし漱石は「自己本位」の立場を同時代のだれにもまして痛切に生きた。血のにじむようなその苦闘の跡を示す「現代日本の開化」「私の個人主義」など五篇の講演記録を中心に、かれの最も奥深いところから響いてくる肉声というべき日記・断片・書簡を抄録した。

日本経済新聞 2026/02/21

1986:10./ 380p  
978-4-00-311110-9

¥990〔税込〕



### 代表的日本人(岩波文庫 青 119-3)

内村 鑑三 著  
岩波書店

内村鑑三(1861—1930)は、「代表的日本人」として西郷隆盛・上杉鷹山・二宮尊徳・中江藤樹・日蓮の五人をあげ、その生涯を叙述する。読みやすい新訳。

日本経済新聞 2026/02/21

1995:7./ 208p  
978-4-00-331193-6

¥858〔税込〕



### ニコマコス倫理学<上>(岩波文庫 青 604-1)

アリストテレス 著  
岩波書店

古代ギリシアにおいて初めて倫理学を確立した名著。万人が人生の究極の目的として求めるものは「幸福」即ち「よく生きること」であると規定し、このあいまいな概念を精緻な分析で闡明する。

日本経済新聞 2026/02/21

1971:11./ 378p  
978-4-00-336041-5

¥1,210〔税込〕



### ニコマコス倫理学<下>(岩波文庫 青 604-2)

アリストテレス 著  
岩波書店

下巻には、「抑制と無抑制」について述べる第 7 巻、各種の「愛」を考察する第 8・9 巻、「快樂」に関する諸説の検討と「幸福」について結論する第 10 巻を収める。詳細な索引を付す。

日本経済新聞 2026/02/21

1973:2./ 374p  
978-4-00-336042-2

¥1,210〔税込〕





### 道徳感情論<上>(岩波文庫 白 105-6)

アダム・スミス 著  
岩波書店

人間がどんなに利己的なものと想定されうるとしても—と書き起こし、近代社会において、自由で平等な利己的個人の平和的共存が、権力の介入なしに、どのようにして可能かを追究する。

日本経済新聞 2026/02/21

2003:2./ 450p  
978-4-00-341056-1

¥1,243 [税込]



### 道徳感情論<下>(岩波文庫 白 105-7)

アダム・スミス 著  
岩波書店

1759年に刊行された本書は、当時、母校グラスゴウ大学の道徳哲学教授であったアダム・スミスの講義内容をまとめたもので、これ以後『国富論』以下で展開される彼の道徳哲学(社会哲学)体系の序論あるいは総論ともいべき著作。

日本経済新聞 2026/02/21

2003:4./ 504p  
978-4-00-341057-8

¥1,320 [税込]



### エコエティカ～生圏倫理学入門～(講談社学術文庫)

今道 友信 著  
講談社

今日、生命倫理や医の倫理、環境倫理や技術倫理など、すべての分野で倫理が問い直されている。エコエティカとは、これら一切を含む「人類の生息圏の規模で考える倫理」のことで、高度技術社会の中で人間の生き方を考え直そうとする新しい哲学である。

日本経済新聞 2026/02/21

1990:11./ 221p  
978-4-06-158946-9

¥1,122 [税込]



### カンザキさん

ピンク地底人3号 著  
集英社

超絶ブラック企業の配送会社で働くことになった僕。そこには、誰にでも優しい人格者のミドリカワさんと、「殺すぞぼけ」と人を罵り、蹴りを入れる悪魔のようなカンザキさんという先輩がいた…。『すばる』掲載に加筆・修正。

日本経済新聞 2026/02/21

2026:1./ 153p  
978-4-08-770035-0

¥1,650 [税込]



### 特殊清掃人グレイス・マクギルと孤独な死者たち(小学館文庫 口 3-1)

C.S.ロバートソン、菅原 美保 著  
小学館

グラスゴーに暮らし、孤独死のあった部屋の特種清掃を仕事とするグレイス・マクギルは、担当したばかりのふたつの現場にある繋がりを見出し、独自の調査に乗り出す。やがて、半世紀以上前に起きた未解決事件に辿り着くが…。

日本経済新聞 2026/02/21

2026:2./ 455p  
978-4-09-407447-5

¥1,254 [税込]





**イワン・デニーソヴィチの一日 改版(新潮文庫)**

ソルジェニーツィン 著

新潮社

日本経済新聞 2026/02/21

2005:11./ 278p  
978-4-10-213201-2

¥693 [税込]



**インフレの時代～賃金・物価・金利のゆくえ～(中公新書 2889)**

渡辺努 著

中央公論新社

2022年春から日本でも始まったインフレ=物価高騰。どうすれば賃金を上げられるか、政策金利は、財政はどうか? 物価研究の第一人者が、直撃するインフレの実態に迫る。

2026:1./ 307p  
978-4-12-102889-1

¥1,320 [税込]



日本経済新聞 2026/02/21



**男も女もみんなフェミニストでなきゃ(河出文庫 ア10-4)**

チママンダ・ンゴズィ・アディーチェ 著

河出書房新社

アフリカ、ヨーロッパ、アメリカ大陸を繋ぐ英語圏の作家チママンダ・ンゴズィ・アディーチェが、自分の体験談などをもとに、フェミニズムについて語る。2019年刊「イジェアウエレへ」を併録。

2026:1./ 144p  
978-4-309-46825-9

¥880 [税込]



日本経済新聞 2026/02/21



**リーダーシップの旅～見えないものを見る～(光文社新書)**

野田 智義、金井 寿宏 著

光文社

リーダーシップは本を読んで修得するものでも、だれかから教わるものでもない。それは私たち一人一人が、自分の生き方の中に発見するものだ。リーダーシップのあり方について、実践的な観点から考える。

2007:2./ 297p  
978-4-334-03389-7

¥858 [税込]



日本経済新聞 2026/02/21



**職場の対話はなぜすれ違うのか(光文社新書 1394)**

小林 祐児 著

光文社

増える面談、理解してくれない上司、心を開かない部下…。「対話」に疲れたすべてのビジネスパーソンに向けて、大規模調査による分析や、社会学・哲学・文化人類学の知見を駆使して、有意義な対話のための処方箋を提示する。

2026:1./ 329p  
978-4-334-10845-8

¥1,078 [税込]



日本経済新聞 2026/02/21



### 辺境から中心へ～文在寅回顧録～<外交安保編>

文 在寅、崔 鍾建、蓮池 薫 著

実業之日本社

どうやってトランプと金正恩を向かい合わせたのか。大韓民国の文在寅元大統領が舞台裏を初めて明かす。安倍晋三・メルケル・バイデン・習近平ら各国要人との秘話も収録。

日本経済新聞 2026/02/21

2025:12./ 554p  
978-4-408-65122-4

¥3,630〔税込〕



### 東京カブストーリー

東洋経済新報社 編

東洋経済新報社

老舗スポーツメーカー「バードスポーツ」に入社した鶴田舞香。配属されたのは経営企画部、担当はIR(投資家向け広報)で…。元・大和証券投資銀行部長が綴る、世界でいちばんわかりやすい株式・株価・株主についての物語。

日本経済新聞 2026/02/21

2025:12./ 283p  
978-4-492-68153-4

¥1,760〔税込〕



### スパイたちの百年戦争～東西の熾烈な諜報活動～<上>

カルダー・ウォルトン 著

白水社

ハーヴァード大学の世界屈指の研究者による、学術性と物語性を兼ね備えた諜報史。ロシア革命から第二次大戦、冷戦、ソ連崩壊、新冷戦、ウクライナ戦争、ロシア・中国の策謀まで、「陰の戦争」の攻防を追う。

日本経済新聞 2026/02/21

2025:12./ 402p  
978-4-560-02478-2

¥4,180〔税込〕



### スパイたちの百年戦争～東西の熾烈な諜報活動～<下>

カルダー・ウォルトン 著

白水社

ハーヴァード大学の世界屈指の研究者による、学術性と物語性を兼ね備えた諜報史。ロシア革命から第二次大戦、冷戦、ソ連崩壊、新冷戦、ウクライナ戦争、ロシア・中国の策謀まで、「陰の戦争」の攻防を追う。

日本経済新聞 2026/02/21

2025:12./ 370p  
978-4-560-02479-9

¥4,070〔税込〕



### 一生に一度は解きたい至高の算数良問 100

算数星人 著

かんき出版

かけ算の九九、81個の数字をすべて足すといくつ? 小学生も楽しく解ける問題から、誰にも解けない鬼難問まで、「発想力」が試される算数の問題全100問を収録する。

日本経済新聞 2026/02/21

2025:11./ 254p  
978-4-7612-7837-3

¥1,760〔税込〕





### おい点P、動くんじゃねえ!〜ニガテ民のための算数と数学の本〜

とけいまわり 著  
晶文社

ニガテ総選挙 No.1 の速さ問題、脳が拒絶するつるかめ算や利益算、常になんとなく不安な文章問題…。絶妙に納得できないテーマを厳選し、算数・数学に不満たらたらのケンジと、数学好きの兄貴が、対話しながらひも解く。

日本経済新聞 2026/02/21

2025:12./ 271p  
978-4-7949-8029-8

¥2,090〔税込〕



### 「頭」を使える良問〜「日本が誇る財産=中学受験問題」を題材にビジネス、いや、人生の難題、困難をもプラスに転じさせる、センス・思考角度を磨く本。〜

高松 智史 著  
ソシム

「中学受験問題」をビジネスの角度から見たら、凄まじい奥深さが見えてしまった! 「日本が誇る財産」とも言える「中学受験」の問題から、「ビジネス・日常に使える思考」を抽出する。

日本経済新聞 2026/02/21

2026:1./ 351p  
978-4-8026-1533-4

¥1,980〔税込〕



### 海神と靈性

秋道 智彌 著  
法蔵館

われわれが海に抱く畏怖の念はどこから来るのか? 海の信仰、漂着物と海神、海と他界など、海に関わる靈性の問題を通じて、海神(=海の神がみ)のもつ思想的な意味を明らかにする。

日本経済新聞 2026/02/21

2026:1./ 336p  
978-4-8318-5745-3

¥3,080〔税込〕



### 純粹理性批判

イマヌエル・カント 著  
作品社

理性の働きとその限界を明確にし、近代哲学の源泉となったカントの主著「純粹理性批判」の新訳。日本語として通読可能な訳文を提供することをこころがけ、原文の修飾関係を精確かつ読みやすい形で示す。

日本経済新聞 2026/02/21

2012:1./ 863p  
978-4-86182-358-9

¥8,800〔税込〕



### シンクロニシティ〜未来をつくるリーダーシップ〜 増補改訂版

ジョセフ・ジャウォースキー 著  
英治出版

ウォーターゲート事件に直面し、「リーダー」という存在に不信感を募らせた著者。彼は、「真のリーダーとは何か」を求めて旅に出る-。あるべきリーダーシップの姿が浮かび上がる一冊。新章を追加した増補改訂版。

日本経済新聞 2026/02/21

2013:2./ 381p  
978-4-86276-146-0

¥2,750〔税込〕





### アバンダンス～「豊かな時代」を呼びませ～

エズラ・クライン、デレク・トンプソン、土方 奈美 著  
ユーザベース

経済と社会の大停滞を打破するカギは、アバンダンス(あり余るほどの豊かさ)にある。住宅、人手、インフラ、技術の深刻な「不足」からアバンダンスに舵を切るには、具体的に何をすべきかを語る。

日本経済新聞 2026/02/21

2025:12./ 347p  
978-4-910063-38-6

¥2,640〔税込〕



9 78 4 91 00 63 38 6



### 自治体は何のためにあるのか～<地域活性化>を問い直す～(岩波新書 新赤版 2092)

今井 照 著  
岩波書店

空洞化が加速する地方自治。地方創生の名のもとに稼ぐための地域活性化を煽られ、コンサル会社による行政の分捕りや、国からの新たな統制が広がっている。市民が自治体を使いこなすために、自治体の存在意義を根本から考える。

日本経済新聞 2026/02/21、朝日新聞 2026/02/28

2025:12./ 234p  
978-4-00-432092-0

¥1,034〔税込〕



9 78 4 00 43 20 92 0



### 中高年シングル女性～ひとりで暮らすわたしたちのこと～(岩波新書 新赤版 2093)

和田 静香 著  
岩波書店

あらゆる社会保障や支援の狭間にこぼれ落ちてしまう、「透明」な存在と化した中高年シングル女性。仕事や住まい、お金の悩みから、老後の不安、人間関係まで、多くの当事者女性たちの声とリアルを伝える。

日本経済新聞 2026/02/28

2025:12./ 250p  
978-4-00-432093-7

¥1,056〔税込〕



9 78 4 00 43 20 93 7



### 60歳の迎え方～定年後の仕事と暮らし～

河野 純子 著  
KADOKAWA

人生100年時代、60歳からの人生は自由で楽しい! ワクワクとした気持ちで60歳を迎え、これからの40年を楽しく働き暮らすために、知っておきたい&やっておくべきことを伝える。

日本経済新聞 2026/02/28

2024:12./ 243p  
978-4-04-115192-1

¥1,870〔税込〕



9 78 4 04 11 51 92 1



### アイドルで落ちこぼれだった私がプロレス界のセンターに立った話

上谷沙弥 著  
KADOKAWA

ダンスで世界大会第2位になり、高校生のときはEXILEのサポートダンサー。アイドルを経て、プロレスと出逢い...。女子プロレス団体スターダムのプロレスラー・上谷沙弥が、その半生を綴る。川島明との対談も収録。

日本経済新聞 2026/02/28

2026:2./ 219p  
978-4-04-607868-1

¥2,530〔税込〕



9 78 4 04 60 78 68 1



### 定年女子～60を過ぎて働くということ～(集英社文庫 き 23-2)

岸本 裕紀子 著  
集英社

女性の2人に1人が90歳まで生きる時代。定年はゴールではなくもはや「折り返し点」。定年後、経験を生かす仕事に就く、新たな分野にチャレンジするなど、様々な形で働き続ける女性たちに取材し、生の声を豊富に紹介する。

日本経済新聞 2026/02/28

2019:11./ 204p  
978-4-08-744054-6

¥550〔税込〕



### 定年女子～新たな居場所を探して～(集英社文庫 き 23-3)

岸本 裕紀子 著  
集英社

二拠点生活、65過ぎてからの仕事、親の介護&孫の世話…。コロナ禍でもたくましい定年女子たちの生の声を紹介。健康、やれる仕事、趣味、家族との関係と向き合い、「老後の前の時間」を楽しく過ごすパワーとヒントが満載。

日本経済新聞 2026/02/28

2024:3./ 204p  
978-4-08-744628-9

¥638〔税込〕



### 戦後ヨーロッパはいかに構築されたか～政治・経済・アイデンティティ～ (中公選書 164)

ローラン・ヴァルルゼ 著  
中央公論新社

EU加盟各国の力学がせめぎ合う「ヨーロッパ統合」。現在の形に収斂するまでの歴史的経緯、複雑な制度構築など様々な面に光を当て、ヨーロッパ統合を立体的に捉えるとともに、ヨーロッパが直面する問題の性質を明らかにする。

日本経済新聞 2026/02/28

2026:1./ 240p  
978-4-12-110166-2

¥2,530〔税込〕



### 菅義偉 官邸の決断

菅義偉 著  
ダイヤモンド社

「縦割り」「慣例主義」「先送り」に阻まれていた政治をいかに変革したか。安倍長期政権を支え、自身も総理を務めたキーパーソンが、官邸の全舞台裏を明かす。『週刊ダイヤモンド』連載を加筆し書籍化。

日本経済新聞 2026/02/28

2025:12./ 291p  
978-4-478-12366-9

¥2,200〔税込〕



### 定年男子定年女子～45歳から始める「金持ち老後」入門!～(日経ビジネス 人文庫 お 14-2)

大江 英樹/井戸 美枝 著  
日本経済新聞出版社

人生100年時代に、経済的にも精神的にも豊かな定年後を送るためには。元金融マンで経済コラムニストの大江英樹と、日本イテ年金通の社会保険労務士の井戸美枝が本音で語る、「金持ち老後」入門。チェックリストあり。

日本経済新聞 2026/02/28

2020:4./ 200p  
978-4-532-19972-2

¥880〔税込〕





### 美術館強盗事件簿～10カ国10事件の顛末～

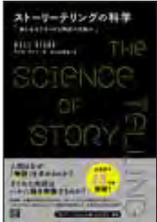
フィリップ・デュラン、神田 順子、田辺 希久子 著  
草思社

1911年パリのルーヴル美術館から「モナ・リザ」が盗まれた事件を筆頭に、20世紀以降にヨーロッパ、アメリカ、ブラジル、エジプトの美術館で起きた名画盗難事件を描いたノンフィクション。

日本経済新聞 2026/02/28

2026:1./ 359p  
978-4-7942-2817-8

¥2,860〔税込〕



### ストーリーテリングの科学～脳と心をひきつける物語の仕組み～

ウィル・ストー 著  
フィルムアート社

人間はなぜ「物語」を求めるのか？ すぐれた物語はいかに脳を刺激するのか？ 脳科学・心理学の知見を生かせばストーリーはもっと魅力的に語れる！ イギリスで人気のライティング講師が共感を生む創作の秘密を解き明かす。

日本経済新聞 2026/02/28

2025:12./ 352p  
978-4-8459-2414-1

¥2,640〔税込〕



### 「混血児問題」の歴史社会学～戦後日本の人種的境界～

有賀ゆうアニース 著  
新曜社

人種は人々の人生行路をどう形づくるのか。戦後日本の教育・福祉・移民等の政策や、その現場で「混血児」がいかに処遇されてきたのかを明らかにし、人種という境界が人々の経験を形づくる仕組みを精究する。

日本経済新聞 2026/02/28、毎日新聞 2026/02/28

2026:1./ 335p  
978-4-7885-1908-4

¥4,290〔税込〕



### 沈黙と爆弾

吉良 信吾 著  
小学館

熊本県警本部警務部監察課の阿玉清治は、非違事案の調査を命じられる。爆発事件に巻き込まれて意識不明となっている刑事の澤守が、暴行騒ぎを起こしていた疑いがあるという。警察の威信に傷がつかない無難な着地を求められ...

毎日新聞 2026/02/02

2026:1./ 318p  
978-4-09-386778-8

¥1,980〔税込〕



### 百窓の殺人(ハーパーBOOKS+ う 1-1)

歌田 年 著  
ハーパーコリンズ・ジャパン

1995年冬、僕は大学時代の恩師と雪山奥深くの館にやってきた。マニアの間で伝説的存在の建物「百窓」を復元したもので、そのお披露目会だという。他にも百窓に縁深い人間が集められたが、そのうち2人が死体で見つかり...

毎日新聞 2026/02/02

2026:1./ 318p  
978-4-302-11289-0

¥858〔税込〕





### 野菊の墓～他七篇～(岩波文庫 緑 9-3)

伊藤 左千夫 著

岩波書店

従姉弟同士の淡い初恋とその悲劇的結末を、農村の景色とともに鮮やかに描写した表題作のほか、娘を水難で失った体験を元に執筆した「奈々子」など、伊藤左千夫の多彩な小説世界を味わえる全 8 篇を収録。

2025.11./ 228p  
978-4-00-310093-6

¥715〔税込〕



毎日新聞 2026/02/07



### 猿

京極 夏彦 著

KADOKAWA

「猿がいる」と言い出した同居人。かすかに感じる、妙な気配。曾祖母の遺産相続。岡山県山中の限界集落。よく判らない違和感…。恐怖の本質に迫る長編小説。『怪と幽』連載に大幅な書き下ろしを加えて単行本化。

2025.12./ 363p  
978-4-04-115719-0

¥2,200〔税込〕



毎日新聞 2026/02/07



### なんなん自分

ユースケ 著

KADOKAWA

お笑いコンビ・ダイアンのユースケが、日常の出来事をはじめ、幼少期、M-1 グランプリ、ラジオなど、さまざまなテーマや状況下で感じた思いを綴る。日常、他者、自分自身に対する「なんなん?」をめぐる、疾風怒涛の 40 編。

2026.1./ 317p  
978-4-04-681106-6

¥1,870〔税込〕



毎日新聞 2026/02/07



### ビブリア古書堂の事件手帖～栗子さんと奇妙な客人たち～(メディアワークス文庫 み 4-1)

三上 延 著

アスキー・メディアワークス

毎日新聞 2026/02/07

2011.3./ 307p  
978-4-04-870469-4

¥935〔税込〕



### 「日本文化論」はどう創られてきたか～戦時下のモンタージュ～(集英社新書 1278)

大塚 英志 著

集英社

戦時下のメディア理論と文化工作を長年研究し続けている批評家が、芸術理論がさまざまな文化と融合し、ファシズム的な表現に変容していくさまを分析。「創られた日本文化論」の正体を明らかにする。

2025.9./ 474p  
978-4-08-721378-2

¥1,430〔税込〕



毎日新聞 2026/02/07



### 憤怒の人〜母・佐藤愛子のカケラ〜

杉山響子 著  
小学館

母はかなわん人だった。うるさい人だった。私は私が知る母のすべてを書こうと思った。作家・佐藤愛子を母にもつ著者が、102歳の愛子の今と思い出をユーモアとペースたっぷりに綴る。『女性セブン』連載を書籍化。

毎日新聞 2026/02/07

2026:1./ 335p  
978-4-09-389830-0

¥1,870〔税込〕



### 永田鉄山の総力戦(文春新書 1513)

川田稔 著  
文藝春秋

陸軍統制派の指導的中心人物として、満州事変以降の陸軍を主導した永田鉄山。国を守るための戦争か、戦争のための国家か？ 総動員体制のパラドックスに挑んだ陸軍最高頭脳の闘いを紹介する。

毎日新聞 2026/02/07

2025:10./ 239p  
978-4-16-661513-1

¥1,100〔税込〕



### 死者たち

クリスティアン・クラハト／田梓 著  
河出書房新社

1932年。甘粕正彦により、日独合作映画の制作が始動した。若き映画監督エミール・ネーグりは日本に送り込まれる。映画に野望を託すふたりの男の欲望は、やがて国家と美の危うい結託に呑み込まれていく。

毎日新聞 2026/02/07

2025:11./ 214p  
978-4-309-20937-1

¥2,640〔税込〕



### 教養としての量子コンピュータ

藤井 啓祐 著  
ダイヤモンド社

研究の最前線に立つ著者が、ビジネスや日常に変化をもたらす量子コンピュータの知識を明快に伝える入門書。量子力学誕生から百年にわたる歩みと、そこから生まれた量子コンピュータの全体像、未来に向けた応用まで解説する。

毎日新聞 2026/02/07

2025:11./ 317p  
978-4-478-12226-6

¥1,980〔税込〕



### 人生にコンセプトを(ちくまプリマー新書 498)

澤田 智洋 著  
筑摩書房

人生にコンセプトがあれば「無数の選択肢で悩まない」「ブレずに続けられる」「あきらめない勇気になる」。『ゆるスポーツ』に25万人をまきこんだコピーライターが、道なき時代の歩き方を伝える。

毎日新聞 2026/02/07

2025:7./ 191p  
978-4-480-68529-2

¥990〔税込〕





### チャーチル伝

F.ケルソディ、大嶋 厚 著

作品社

イギリスの優れた政治家、卓越した著述家、そして並ぶ者のない雄弁家であったウィンストン・チャーチルの評伝。膨大な資料と多数の関係者の証言をもとに、あまり知られていない若き日々にも光を当て、その人生を描出する。

毎日新聞 2026/02/07

2025:12./ 734p  
978-4-86793-125-7

¥5,940〔税込〕



### 珈琲と樺〜民俗・まなびの径〜

野本寛一 著

七月社

榎のはなし、樺ものがたり、荒神信仰の振幅、環境変化のさざ波…。半世紀以上にわたり山野河海を歩き続け、無数の人びとから民俗伝承を学び続けた民俗学者が、その来し方を振り返り、この国の行く末を想う。

毎日新聞 2026/02/07

2025:12./ 357p  
978-4-909544-46-9

¥3,850〔税込〕



### かつてこの町に巨大遊廓があった〜熊本・二本木の歴史と記憶をたずねて〜

澤宮優 著

忘羊社

明治から戦後にかけて、軍都・熊本の隆盛とともに栄えた二本木遊廓。待遇の過酷さに娼妓らの逃亡が頻発し、ついに日本初のストライキが起きたとされる伝説の地を訪ね、古老たちの証言や資料を渉猟する。

毎日新聞 2026/02/07、東京・中日新聞 2026/02/22、読売新聞 2026/02/22

2026:1./ 215p  
978-4-907902-40-7

¥2,090〔税込〕



### 被爆者が眠る島〜知られざる原爆体験〜(岩波ブックレット No.1115)

永井均 著

岩波書店

広島への原爆投下直後、1万人もの被災者が運び込まれ、野戦病院にして埋葬場所ともなった似島。被災者や救護者たちの手記や貴重な資料をもとに、歴史から取りこぼされてしまった、似島の原爆体験を描いたドキュメント。

毎日新聞 2026/02/14

2025:11./ 76p  
978-4-00-271115-7

¥748〔税込〕



### からすのパン屋さん(かこさとしおはなしのほん 7)

かこ さとし 著

偕成社

泉が森のからすのパン屋さんは、おいしい、すてきなパンをどっさり焼きましたが、おかげで店先で大騒動が起こります。

毎日新聞 2026/02/14

1978:1./ 31p  
978-4-03-206070-6

¥1,100〔税込〕





### はくしむるち

豊永浩平 著  
講談社

沖縄の今を生きる少年少女と、80年前の戦場を生き残った少年兵たち。ともに白紙のような彼らを呑み込んでいく巨大で残酷な暴力に、どう立ち向かうのか？ 現代と戦中戦後の時空を交差させて描く。『群像』掲載を単行本化。

毎日新聞 2026/02/14

2026:1./ 277p  
978-4-06-541797-3

¥1,980〔税込〕



### 朝鮮漂流

町田 康 著  
新潮社

文政2年、薩摩藩士ら25人を乗せた船は暴風雨に襲われ、辿り着いたのは朝鮮国だった…。安田義方「朝鮮漂流日記」を原史料として創作した、サバイバル×異文化交流巨編。『新潮』掲載を書籍化。

毎日新聞 2026/02/14

2026:1./ 646p  
978-4-10-421504-1

¥3,575〔税込〕



### おまあ推理帖

諸田 玲子 著  
文藝春秋

浅草ご隠居暮らしのおまあさん。奉行所に張られた殺人予告、榎屋敷の15年前の怪異、美貌のお中臈の怨み。おまあさんの家には女たちが集い、様々な悩みや事件が持ち込まれ…。『オール讀物』掲載を書籍化。

毎日新聞 2026/02/14

2026:1./ 299p  
978-4-16-392055-9

¥2,035〔税込〕



### 耕さない農業入門講座～草と生きものを活かす新しい不耕起栽培へ～(農のとびら)

農文協 編  
農山漁村文化協会

生きた草(カバークロップ)で地表を覆えば、人間が耕さなくても草やミミズ、微生物の力で、作物が元気に育つ土ができる。「耕さない農業」と呼ばれる新しい不耕起栽培の技術や理論、可能性を語る。オンライン講座を再構成。

毎日新聞 2026/02/14

2025:9./ 179p  
978-4-540-25145-0

¥2,200〔税込〕



### カーボン～炭素をめぐる生命と循環の物語～

ポール・ホーケン、倉田 真木 著  
山と溪谷社

炭素は、この惑星全体に命を吹き込む唯一の元素である。炭素というレンズを通して生命の営みを見つめ、この普遍的かつ不可欠な元素があらゆる存在の隙間へと広がり、生命の織物を形作っている様子を探求する。

毎日新聞 2026/02/14

2026:1./ 319p  
978-4-635-31053-6

¥2,200〔税込〕





### ユニバーサル・ミュージアムから人類の未来へ〜「目に見えないもの」の精神史〜

広瀬浩二郎 著  
雄山閣

全盲の文化人類学者で、展示物にさわれるユニバーサル・ミュージアム研究の第一人者が「世界をみる」多様な手法を紹介。さらに盲目の女性旅芸人・瞽女の活動から「ユニバーサル」の真意を導き出す。テキストデータ引換券付き。

毎日新聞 2026/02/14

2025:9./ 222p  
978-4-639-03078-2

¥2,860〔税込〕



### 「平和国家」日本の軍事を考える〜自衛・安全保障・国際協力〜

佐道 明広 著  
吉川弘文館

非軍事国家となった戦後日本は、いかに国家運営をしつつ、安全保障や外交を考えてきたのか。国際環境の変動の中で国家像なきまま防衛政策を進めてきた歴史を考察し、安全保障と国際協力の現実に即した議論を促す。

毎日新聞 2026/02/14

2025:12./ 232p  
978-4-642-08487-1

¥2,750〔税込〕



### はじめましての郷土玩具 新装版

甲斐みのり／中村浩記 著  
グラフィック社

五穀豊穡、病気平癒、子授け・安産。風土に合わせた形や素材でつくられ、さまざまな祈りが捧げられてきた日本各地の郷土玩具 320 点を、写真で紹介する。全国の郷土玩具の工房・販売店等も収録。

毎日新聞 2026/02/14

2025:12./ 135p  
978-4-7661-4138-2

¥1,870〔税込〕



### 芸人廃業〜ダウンタウンになれなかった者たちの航海と後悔〜

藤井 ペイジ 著  
鉄人社

芸人人生の“航海”の果てに、表舞台から去った 19 人にインタビュー。人生を賭けて夢に挑み、当たって砕けた人たちが、また新たな道を見つけて力強く生きていく、リアルな再生のドキュメンタリー。

毎日新聞 2026/02/14

2026:1./ 367p  
978-4-86537-315-8

¥1,980〔税込〕



### 悪党たちのソ連帝国(新潮選書)

池田 嘉郎 著  
新潮社

レーニン、スターリンからアンドロポフ、ゴルバチョフまで、法の上に君臨し、ソヴィエト連邦という「巨大な家族共同体」を率いた領袖たちの姿から、ロシア特有の統治原理を炙り出す。『フォーサイト』連載を書籍化。

毎日新聞 2026/02/14、産経新聞 2026/02/22

2025:11./ 288p  
978-4-10-603938-6

¥1,925〔税込〕





**宮本常一～民俗学を超えて～(岩波新書 新赤版 2096)**

木村 哲也 著  
岩波書店

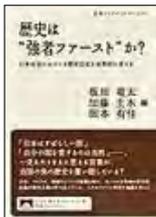
生涯をかけて各地を旅し人々の声に耳を傾け続けた、日本を代表する民俗学者・宮本常一。網野善彦、司馬遼太郎など、宮本の言葉と行動を受けとめ独創的な仕事を成した人々を通して、今に生きる宮本民俗学を考える。

2026:1./ 248p  
978-4-00-432096-8

¥1,056〔税込〕



毎日新聞 2026/02/14、朝日新聞 2026/02/21



**歴史は“強者ファースト”か?～日本社会にはびこる歴史否定を世界的に考える～(岩波ブックレット No.1117)**

板垣竜太／加藤圭木 著  
岩波書店

1990年代後半から、自国の負の歴史を正当化する歴史否定論が日本で本格的に展開し、排外主義を呼び込んでいる。韓国、米国はじめトランスナショナルな視点から、そのカラクリと対抗の道筋を考える。講座をもとに書籍化。

2026:1./ 103p  
978-4-00-271117-1

¥836〔税込〕



毎日新聞 2026/02/21



**ご冗談でしょう、ファインマンさん<上>(岩波現代文庫 社会 5)**

R.P.ファインマン 著  
岩波書店

20世紀を代表する物理学者が、奇想天外な話題に満ちた自らの人生をユーモアたっぷりに語る。ノーベル賞受賞をめぐる顛末、また初来日の時の“こだわり”など、愉快なエピソードのなかに、とらわれぬ発想と科学への真摯な情熱を伝える好読物。

2000:1./ 356p  
978-4-00-603005-6

¥1,430〔税込〕



毎日新聞 2026/02/21



**ご冗談でしょう、ファインマンさん<下>(岩波現代文庫 社会 6)**

R.P.ファインマン 著  
岩波書店

毎日新聞 2026/02/21

2000:1./ 334p  
978-4-00-603006-3

¥1,540〔税込〕



**ヤマト王権と難波・河内(角川選書 685)**

吉村 武彦 著  
KADOKAWA

巨大古墳群が集中する和泉と河内は、ヤマト王権の真の政治的拠点だったのか。古代史の核心「河内王朝」の真偽に挑み、「歴代遷宮」の歴史的意味を再考し、古代史観を刷新する。

2026:1./ 338p  
978-4-04-703600-0

¥2,530〔税込〕



毎日新聞 2026/02/21



戦中派～死の淵に立たされた青春とその後～(講談社現代新書 2794)

前田啓介 著  
講談社

アイツが死んで、オレが生きた。生き残ったことの後ろめたさ…。戦没者が最も多かった1920～1923年生まれの子供たち。青春を戦争に翻弄され、戦後経済成長の原動力となった数奇な世代の昭和史を描く。

毎日新聞 2026/02/21

2025:10./ 510p  
978-4-06-537687-4

¥1,650〔税込〕



9 78 4 06 5 3 7 6 8 7 4



太平洋戦争と銀行～なぜ日本は「無謀な戦争」ができたのか～(講談社現代新書 2796)

小野圭司 著  
講談社

満洲を、台湾を、朝鮮を、樺太を、本土を、銀行員たちは決死の覚悟で駆けめぐっていた! 植民地経営から戦費調達、敗戦後の「清算」まで、銀行員たちが奮闘した、知られざる「戦争の舞台裏」を明かす。

毎日新聞 2026/02/21

2025:11./ 270p  
978-4-06-541706-5

¥1,155〔税込〕



9 78 4 06 5 4 1 7 0 6 5



危機の三十年～冷戦後秩序はなぜ崩壊したか～(新潮選書)

細谷 雄一 著  
新潮社

冷戦終結で平和が訪れるはずだったのに、なぜ再び戦争の時代となってしまったのか。国際政治学の古典「危機の二十年」を下敷きに、ユートピア主義とリアリズムの相克という視座から、ウクライナ侵攻へ至る道を検証する。

毎日新聞 2026/02/21

2026:2./ 284p  
978-4-10-603942-3

¥1,925〔税込〕



9 78 4 10 6 0 3 9 4 2 3



アンデル～小さな文芸誌～<1>(中公ムック)

中央公論新社 著  
中央公論新社  
毎日新聞 2026/02/21

2026:1./ 79p  
978-4-12-800159-0

¥330〔税込〕



9 78 4 1 2 8 0 0 1 5 9 0



「推し」という病(文春新書 1519)

加山 竜司 著  
文藝春秋

AKB、ホスト、VTuber、アニメ、ゲーム、地下アイドル…。実際に「推し」によって人生を大きく変える選択をした人々の言葉に耳を傾けることで、「推し」の何が人々を病的なまでにエスカレートさせていくのかを探る。

毎日新聞 2026/02/21

2026:1./ 287p  
978-4-16-661519-3

¥1,320〔税込〕



9 78 4 1 6 6 6 1 5 1 9 3



### 名画で読む「音楽の秘密」

中野京子（ドイツ文学） 著  
祥伝社

人を狂わせるソナタ、一本弦のヴァイオリン、怪物の美声…。絵画が音楽や音をどう表現してきたかを、さまざまな作品とともに考察する。45 作品をオールカラーで掲載。『美術展ナビ』連載を加筆修正し書籍化。

毎日新聞 2026/02/21

2025:12./ 223p  
978-4-396-61858-2

¥2,090〔税込〕



### こどもと民主主義をつくる～教育にできること～

藤原 さと 著  
平凡社

世界中で民主主義の理念が揺らいでいる。排外・差別主義が強まり、分断とポピュリズムが進むいま、教育に何ができるのか。民主主義を養うための教育を理論・実践の両面からこどもの発達段階に応じて紹介する。

毎日新聞 2026/02/21

2025:12./ 271p  
978-4-582-73112-5

¥2,860〔税込〕



### 東欧の体制転換と新自由主義～1989年以後のヨーロッパ～

フィリップ・テア 著  
みすず書房

1989 年以後、東欧諸国における急激な自由化・規制緩和・民営化は何をもたらし、西ヨーロッパはいかに変わったか。30 余年の欧州現代史を総括し、変化の実相を紐解く。

毎日新聞 2026/02/21

2025:10./ 592p  
978-4-622-09784-6

¥6,050〔税込〕



### ヒューム イングランド史<1>

デイヴィッド・ヒューム 著  
名古屋大学出版会

ヒューム思想の結晶であり、啓蒙の歴史叙述の最高傑作を、網羅的な資料調査と綿密な校訂にもとづいて全訳。1 は、ジェイムズ 1 世とチャールズ 1 世を収録する。

毎日新聞 2026/02/21

2025:11./ 564p  
978-4-8158-1209-6

¥9,350〔税込〕



### ヒューム イングランド史<2>

デイヴィッド・ヒューム 著  
名古屋大学出版会

ヒューム思想の結晶であり、啓蒙の歴史叙述の最高傑作を、網羅的な資料調査と綿密な校訂にもとづいて全訳。2 は、共和国、チャールズ 2 世、ジェイムズ 2 世を収録する。

毎日新聞 2026/02/21

2025:11./ 496p  
978-4-8158-1210-2

¥9,350〔税込〕





### シマエナガと交換日記〜冬春夏秋〜<3> シマエナガと北の森の仲間たち

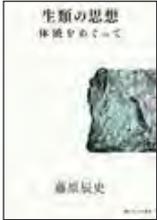
forest\_limit 著  
オレンジページ

かわいいシマエナガや森の仲間たちのすべらない写真に、つい突っ込みたくなるすべるキャプションを添えた、くすっと笑えてほっこり温まるやさしい写真集、第3弾。インスタグラムの投稿に新規原稿を加えて再構成。

毎日新聞 2026/02/21

2025.12./ 158p  
978-4-86593-805-0

¥1,650〔税込〕



### 生類の思想〜体液をめぐる〜

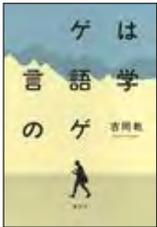
藤原 辰史 著  
かたばみ書房

大気・海洋・土壌汚染、アレルギーの増加、日常化する暴力…。高速回転するこの世界の現実をどう捉えるか。「体液」を根拠に「人間」と「環境」を根源から定義しなおし、ありえたかもしれない、もうひとつの世界を描きだす。

毎日新聞 2026/02/21

2025.9./ 288p  
978-4-910904-03-0

¥2,970〔税込〕



### ゲは言語学のゲ

吉岡乾 著  
講談社

世界には約 7000 の言語があり、その半分以上が文字のない言語である。そんな「無文字言語」をパキスタン山奥の現地に赴き調査し、今日もつらつら言語学に思いを馳せる。『群像』連載を再構成、加筆修正。

毎日新聞 2026/02/28

2026.1./ 253p  
978-4-06-541794-2

¥2,090〔税込〕



### 百歳の景色見たいと母は言い

市毛良枝 著  
小学館

介護に翻弄される毎日、施設への入居、在宅介護、90代の母を車椅子で連れて行ったオレゴンへの旅…。俳優・市毛良枝が、古き大正や昭和の空気をまとう“元お転婆姫”を介護し、100歳で看取るまでの日々を綴る。

毎日新聞 2026/02/28

2025.12./ 283p  
978-4-09-389828-7

¥1,980〔税込〕



### 論争大坂の陣(新潮選書)

笠谷 和比古 著  
新潮社

関ヶ原合戦は、その結果として巨大な政治的矛盾を生み出していた。大坂の陣は、これら巨大な政治的矛盾の帰結として生じた。矛盾の要因を分析・検討するとともに、大坂の陣の意義をめぐる新たな見解を示す。

毎日新聞 2026/02/28

2025.10./ 238p  
978-4-10-603937-9

¥1,815〔税込〕





### ウクライナの形成～革命期ロシアの民族と自治～

村田 優樹 著  
東京大学出版会

ウクライナ民族運動と、リベラルを中心とするロシアの解放運動の交差を軸にして、領域政治単位としての「ウクライナ」が構想され、議論され、実現するまでの歴史をたどる。

毎日新聞 2026/02/28

2025:9./ 328p  
978-4-13-021088-1

¥3,960〔税込〕



9 7 8 4 1 3 0 2 1 0 8 8 1



### マテニ 10号<上>

黄 皙暎 著  
白水社

鉄道は朝鮮の民の血と涙でできている-。近代の到来、そして日本による植民地支配の象徴でもあった鉄道。闘う産業労働者たちと鉄道員一家4代の、朝鮮半島における100年の物語を描く。2024年国際ブッカー賞最終候補作。

毎日新聞 2026/02/28

2025:12./ 326p  
978-4-560-09197-5

¥2,530〔税込〕



9 7 8 4 5 6 0 0 9 1 9 7 5



### マテニ 10号<下>

黄 皙暎 著  
白水社

そのときは負けているように見えても、結局は弱い者が勝つようになっているんだよ-。朝鮮半島から満洲へのびる鉄道、離散の運命、分断を越えてつながる家族...。それぞれの闘いを描く。2024年国際ブッカー賞最終候補作。

毎日新聞 2026/02/28

2025:12./ 332p  
978-4-560-09198-2

¥2,530〔税込〕



9 7 8 4 5 6 0 0 9 1 9 8 2



### わたしと小鳥とすずと(金子みすゞ童謡集)

金子みすゞ 著  
ジュラ出版局

「お魚」「春の朝」「みんなをすきに」「つゆ」「わたしと小鳥とすずと」...。「金子みすゞ全集」から60編を選出。旧仮名遣い・旧漢字を改めた、美しい装丁の金子みすゞ童謡集。

毎日新聞 2026/02/28

2020:9./ 160p  
978-4-577-61025-1

¥1,595〔税込〕



9 7 8 4 5 7 7 6 1 0 2 5 1



### けんちゃん

こだま 著  
扶桑社

特別支援学校高等部に通うダウン症のけんちゃん。癩癩を起しては「気持ちを落ち着かせる部屋」に閉じこもる彼に、どの職員も手を焼いていて...。そんなけんちゃんと、出会った人々との交流を描いた連作小説。

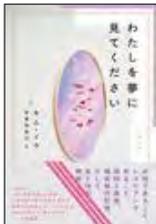
毎日新聞 2026/02/28

2026:1./ 285p  
978-4-594-10179-4

¥1,650〔税込〕



9 7 8 4 5 9 4 1 0 1 7 9 4



### わたしを夢に見てください

キム・メラ／吉良佳奈江 著  
花伝社

死後もなお恋人の夢に寄り添おうとする女性、韓国で妊婦が見るとされる「胎夢」...。幻想の光をまといながら鮮やかに映し出される現代韓国の姿。韓国の新世代の作家キム・メラによるクィア短編集。表題作など、全 8 編を収録。

毎日新聞 2026/02/28

2025:12./ 315p  
978-4-7634-2207-1

¥2,420〔税込〕



9 7 8 4 7 6 3 4 2 2 0 7 1



### 江戸から見直す民主主義

田中 優子、関 良基、橋本 真吾 著  
現代書館

危機に直面する民主主義をリニューアルするヒントは江戸時代にあった! 庶民による「日本的民主主義」=入札、寄り合い、そして幕末の民主主義の萌芽。民主主義を救う江戸の知見を紹介する。テキストデータ請求券付き。

毎日新聞 2026/02/28

2025:12./ 206p  
978-4-7684-5985-0

¥2,530〔税込〕



9 7 8 4 7 6 8 4 5 9 8 5 0



### 「生保レディ」の現代史～保険大国の形成とジェンダー～

金井 郁、申 琪榮 著  
名古屋大学出版会

日本の高度成長の基盤となった生命保険産業。その発展を最前線で支えた女性営業職に着目し、労働の実像を解明。外資系男性営業職もとらえたジェンダー分析により、保険大国への歩みに新たな光を当てる。

毎日新聞 2026/02/28

2025:11./ 352p  
978-4-8158-1214-0

¥5,940〔税込〕



9 7 8 4 8 1 5 8 1 2 1 4 0



### 琉球動物民俗事典～聞き書き琉球列島の動物利用～

盛口 満 著  
八坂書房

琉球列島の島々において、どのように動物利用がなされていたか。ゲッチョ先生こと盛口満が地域のお年寄りから聞き取った具体例を、全 437 項目の動物ごとにまとめて収録する。著者による動物のイラストも多数掲載。

毎日新聞 2026/02/28

2025:12./ 532p  
978-4-89694-385-6

¥5,500〔税込〕



9 7 8 4 8 9 6 9 4 3 8 5 6



### ぼくらが AIBO をつくった～ソニー・ロボティクスの挑戦～

黒川 文雄 著  
ラトルズ

1990 年代末、ソニー社内で進められた AIBO 開発プロジェクト。当時の開発者の証言から、開発チームの哲学、ロボティクスと AI への挑戦、当時の経営体制の光と影を辿り、現代のロボット技術へ続く軌跡を明らかにする。

毎日新聞 2026/02/28

2025:12./ 301p  
978-4-89977-559-1

¥2,640〔税込〕



9 7 8 4 8 9 9 7 7 5 5 9 1



民族の平和的共存は可能か〜ロシア、ポーランド、ウクライナ〜(ゲンロン叢書 018)

ヤン・ボードアン・ド・クルトネ、桑野隆 著  
ゲンロン

<歴史的権利>とは、過去になされた暴力の権利ではない。帝国、マイノリティ、宗教の共存、ウクライナ…。1世紀以上もまえに独自の社会論、民族論を開陳していたポーランド出身の言語学者の発言を広く紹介する。

毎日新聞 2026/02/28

2025:11./ 253p  
978-4-907188-65-8

¥4,180 [税込]



9 7 8 4 9 0 7 1 8 8 6 5 8



「冗談画報」という楽しい番組があった

泉 麻人 著  
三賢社

司会・泉麻人で、1985～90年にフジテレビで放送された「冗談画報」。お笑い芸人からミュージシャン、演劇人まで、若き才能のパフォーマンスをライブ形式で見たその裏側のエピソードや、時代背景を解説する。

毎日新聞 2026/02/28

2025:12./ 309p  
978-4-908655-27-2

¥2,310 [税込]



9 7 8 4 9 0 8 6 5 5 2 7 2